

TOYO UNIVERSITY

東洋

2020

令和2年度



東洋大学雨水会報 Vol.160

ごあいさつ

学校法人東洋大学総長 福川 伸次	1
学校法人東洋大学理事長 安齋 隆	1
東洋大学 学長 矢口 悦子	2
学校法人東洋大学常務理事/ 甫水会常任理事 大熊 廣一	2

新学部長より

法学部長 多田 英明	3
経済学部長 郝 仁平	3

対 談

東洋大学 学長×東洋大学 甫水会 会長	4
---------------------	---

キャンパスガイド

白山キャンパス	8
朝霞キャンパス	9
川越キャンパス	10
板倉キャンパス	11
赤羽台キャンパス	12

学部紹介

文学部 / 経済学部 / 経営学部	13
法学部 / 社会学部 / 国際学部	14
国際観光学部 / 国際地域学部 / ライフデザイン学部	15
理工学部 / 総合情報学部 / 生命科学部	16
食環境科学部 / 情報連携学部	17

大学事務局の窓口から

新型コロナウイルス感染症の 拡大とその対応	18
国際部 部長 高橋 清隆	
「奨学金支援 2つのトピックと本学の対応」	19
学生部学生支援課 課長 笠原 隆	
就職関連	20
就職・キャリア支援部 部長 石井 健一	
納付金（学費等）について	21
経理部財務課	

甫水会活動

2019年度甫水会事業報告	22
2019年度事業報告	
2019年度会計報告	
2020年度甫水会活動計画	28
2020年度事業計画	
2020年度予算書	

沿革・寄贈

本部行事・支部行事

本部行事	33
支部行事	35

甫水会役員名簿

本部役員・評議員・顧問	36
本部役員紹介	37

生協グッズ/甫水会ウィンドブレーカー

「学研災付帯学生生活総合保険」のご案内

父母専用相談窓口(父母ホットライン)

HPのご案内



学校法人東洋大学 総長

福川 伸次

人間安全保障リスクを超えて

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、これまでの感染症よりも各段に深刻な脅威を世界に与えています。感染に悩む各国は、ワクチンが開発途上で治療方法が未開発という現状では、感染を防止するため、移動の禁止、都市の閉鎖、接触の抑制、オンライン教育、在宅勤務などの対策で対応せざるを得ませんでした。その結果、関係国の経済は停滞し、国際信頼が崩れ、国際社会は深刻な状態にあります。構造的に改革するため、「デジタル・ニュー・ディール」とでもいうべき革新的手法で世界の政治、経済の再建の道を見出すことが喫緊の課題です。

しかし、最近の内外の社会は複雑性を高め、単一の論理で律することが困難になりつつあります。そこで思いつくのは「楕円の発想」です。二つの中心から等距離にある点を結ぶと楕円になります。内外の社会は、同心円では律せられない複雑なものとなっています。

人類は、感染症以外にも、自然災害、地球温暖化、生活環境の悪化など多くの危機に直面します。世界では、こうした人間安全保障リスクに加えて、政治上の安全保障リスク、経済上の市場リスクも高まっています。我々は、総合的な安全保障の確立に向けて国際社会の協調を取り戻さなければなりません。

その根底で重要な役割を果たすものは、人間価値尊重の哲学であり、国際協調の精神であり、人間能力高揚の努力であります。私は、本学が創立者井上円了先生の教えを生かし、国際社会に協調の精神と革新の意欲を取り戻すことに貢献することを期待しています。

本学においては教職員と学生の相互の協力で教学水準の維持に努めています。甫水会会員の皆様の日頃からのご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

世界は協力と連携を

2020年は極めて厳しい年となった。キャンパスを閉鎖し、海外に留学していた学生は帰国させた。卒業式も入学式もないのは創立以来はじめてのことである。

コロナに対する「恐怖と不安」のなかで、春学期は全面的にオンライン教育に移行した。初めは学生、教員ともにもどかしさと不満の声があったが、世界の大学に共通する選択であることを理解してもらった。オンラインによる授業は、内容を何度も学べるといった利点や通学、通勤の負担が少ないという評価もあった。本学においては特別修学支援金や生活困難学生に対する特別奨学資金の支給も行うことができた。甫水会さんからもご支援をいただき感謝に堪えない。

秋学期は対面授業とのハイブリッドで始まったが、対面授業の回数は制限せざるを得ない。学生のコミュニケーション力向上や人間力を高めるのにはどうすれば良いのか、引き続き試行錯誤を重ねていきたい。

また、当面海外への学生派遣は難しい。提携大学とのオンライン交流等様々な施策を模索していくしかない。

この世界的危機は人類の歴史を変えていくきっかけになるのではないかと。何よりも人々の考え方を変えつつある。持続可能な発展へとSDGsの目標を明確にした生き方が沸き上がるようになってきている。先進国では、都市化、都市集中化にブレーキがかかりつつある。併行して働き方も改革されるであろう。

国境管理の強化は国内の地域間移動や外出の規制、自粛等と同様に蔓延の拡大を抑えるためであり、むしろ他国の知見、治験は極力共有して蔓延拡大を防遏するよう役立てなければならない。また薬剤、医療設備の効能と有用性の国際的情報共有の必要性は待ったなしである。新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延は、世界の分断とは真逆の協力と連携の強化という切迫したグローバル・イノベーションを要求している。本学はそういう認識を世界で共有するよう貢献したい。



東洋大学 学長

矢口 悦子

困難を超えることで見えてくるもの

東洋大学甫水会会員の皆様には、日頃より暖かいご支援をいただきまして、心より御礼申し上げます。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、まったく想定もしていなかったような事態が続いており、学生たちの教育や将来について、ご心配をいただいております。そうした中、多くの会員様より大きな励ましをいただき、感謝の念に堪えません。

申し遅れましたが、2020年度より学長に就任いたしました矢口悦子でございます。竹村牧男前学長より、きわめて重いバトンを受け取り、前学長の下での発展の継承を託されましたが、就任とともに新型コロナウイルス感染症の拡大による前代未聞の事態に対処することになりました。「教育を止めてはならない」との信念で、教職員が一致団結して対応を重ね、これまでに経験したことのないメディア授業に取り組み、秋学期からは対面と同時配信を融合したハイブリッド型授業の提供も始めております。学生たちの通信環境を整備するために特別修学支援金5万円を一律に給付し、さらに、甫水会の皆様をはじめ校友会の皆様や教職員の寄附を原資とした東洋大学新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」も創設し、既に給付を終えました。

一連の対応の中で様々な報告を耳にしますが、私が最も会員の皆様にお伝えしたいことは、学生たちの頑張りです。大学への登校ができず、多くの制約のもとで友人と会えない孤独と戦い、生活を維持するための知恵も働かせ、そして、こなしきれないほどの課題と日々向き合った経験——。様々に克服してきた学生一人ひとりの頑張りや努力、それらすべてが貴重な糧となって、これからの学生たちを支えてくれると確信しています。将来はコロナ禍経験世代として、世界を舞台に活躍できる底力を持ち、他者のために奮闘することに張り合いを感じる人間へと成長してくれることと信じております。

まだまだ事態の終息が見えない状況でございます。皆様の安全とご健康をお祈り申し上げるとともに、今後とも、学生たちのために何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。



学校法人東洋大学 常務理事
甫水会 常任理事

大熊 廣一

コロナ禍での学生生活

甫水会会員の皆様には、日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。本年度の学部別・地区別父母懇談会はコロナ禍によりWeb形式での開催となりました。メール等でいただいたご意見は大学運営に反映させて参ります。

さて、春学期は感染拡大防止のため、授業や就職活動等がオンラインに変わり、学生の皆さんは戸惑いと不安を感じたことと思います。特に新入生は楽しみにしていた大学生活が大きく変わってしまったことでしょう。授業がオンラインとなったことに伴い、本学では全学生（通信教育課程の学生及び休学者は除く）に5万円の特別修学支援金を支給するとともに、甫水会、卒業生、役員・教職員をはじめとする皆様からの寄付を原資（総額1億8千万円）に新設した東洋大学新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」等による経済的に困窮している学生を対象とする支援を行ってきました。

9月18日に開始された秋学期の授業は急に非対面となってしまった春学期の授業の反省を踏まえて授業の改善を進めました。特に受講者に対して課題が集中しないように学部学科で検討をしました。また、過密状態とならないようにして対面での授業を実施しています。しかし、健康上の理由や同居家族への配慮等により登校が難しい学生や日本に入国できない留学生のために、授業を同時配信する仕組みで対応しています。また、留学については中断や延期となった学生が多く出ています。国境を越え、異文化を現地で体験する留学経験が出来ないことは残念ですが、学生の皆さんが海外とつながる場を少しでも多く提供できるよう、海外協定校とのWebによる共同授業などを始めています。

学生の皆さんには、刻々と変化する状況の中、本学が発信する情報の把握に努めるようお願いしております。これから冬場の感染拡大が懸念されています。私たち一人ひとりが感染予防を心がけていきましょう。



法学部長

多田 英明

法学部における学生の主体性を育む取り組みについて

本年度は、コロナウイルス禍のため春学期は全面的にオンラインによる授業となり、秋学期は部分的に大学の教室での対面授業を再開しました。このような状況下でこそ、学生の主体性を育む取り組みが意味を持ってくるものと考えており、法学部としても様々な取り組みを実施しています。

学修の面では、例年秋学期に実施する「法学部長杯争奪法律討論会」（本年度は憲法分野）、ゼミでの日頃の学修の成果を披露する「ゼミ発表会」について、それぞれオンラインにより実施することとしました。また、各学科・学年の成績優秀者、および語学・法学関係などの検定試験、資格試験合格者を対象とした「法学部長表彰制度」がありますが、成果を挙げた学生を表彰することで、主体的な学修、モチベーションを高めることにつなげてます。

就職の面では、法学部には公務員の就職を希望する学生が多いことから、外部の公務員試験予備校と提携した「公務員対策講座」をオンラインにより実施しています。また、法学部独自の取り組みとして、内定を得た4年生による就職活動に向けた相談の機会も設定する予定です。

国際化の面では、大学の方針の下、法学部でもいろいろな取り組みを進めていますが、コロナウイルス禍の影響を最も強く受けるのが国際化の分野です。例年、夏季・春季の長期休暇期間を利用して実施している海外研修（短期留学）は、今年度はいずれも中止とせざるを得ませんでした。来年度以降、様子を見ながら再開する予定です。海外研修・留学を考える学生は、この時期を利用して、語学力のアップを目指して欲しいと思います。また、学内でも英語などの外国語による授業の履修も可能です。

コロナウイルス禍は終息が見通しがたい状況にありますが、大学、学部として学生の皆さんの主体性を育む取り組みを最大限続けて参ります。今後とも甫水会会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



経済学部長

郝 仁平

学生の主体性を育む取り組み：海外経済研修（中国、アメリカ、欧州）

経済のグローバル化が急進展するなか、内外の経済・産業を理解する上で、諸外国の経済・産業の実態を体感することの重要性は益々高まっています。こうした観点から経済学部では、学生の国際理解及び外国語学習の主体性を育む学部独自の取り組みとして、2012年度より三つの海外経済研修（中国、アメリカ、欧州）プログラムを立ち上げました。研修の参加者は、所定の要件を満たすことで、海外経済研修（専門・選択科目）として2単位が修得可能です。

- ① 中国研修（海外経済研修Ⅰ）：8月に中国北京市にて行う10日余りの研修です。中国の名門大学である對外経済貿易大学で中国経済・ビジネス・文化に関する講義を受講するほか、日本企業も多く進出している天津経済技術開発区や現地企業などの視察を行います。また世界文化遺産である万里の長城や北京市内の見学など、中国の経済や文化をその身で実感することができる研修です。
- ② アメリカ研修（海外経済研修Ⅱ）：9月にアメリカ・ハワイにて行う2週間ほどの研修です。ハワイ大学の中でも中核的な位置付けであるマノア校にて70時間以上の英語での講義（ビジネス英語・環境経済学・環境経済学など）を受けるだけでなく、フィールドワーク、現地学生との交流など、多様な内容を盛り込んだプログラムです。
- ③ 欧州研修（海外経済研修Ⅲ）：3月初旬に本学の協定校であるフランス・ストラスブール大学、ドイツ・マールブルク大学で10日間程度の研修です。研修では現地大学の教授による経済学の講義や学生との交流会に参加するほか、欧州議会の視察や企業見学などを通じて、ヨーロッパの経済・文化・歴史に触れるなど、貴重な体験ができます。

研修に参加した学生はグローバルな視野を広げ、それをきっかけに海外留学を目ざす学生も少なくありません。今年度はコロナ禍の影響で、残念ながら三つの海外経済研修がいずれも中止されましたが、来年度以降、安全を確保した上でぜひ実施したいと思います。



東洋大学 学長
矢口 悦子

対
談

東洋大学 南水会 会長
川本 正信

川本会長 矢口学長はこの4月から学長になられて、私も6月から南水会会長を拝命しましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で大変な一年になってしまいました。学長も就任早々からコロナ対応が大変だったと思うのですが。

矢口学長 はい。就任前からコロナ対策がスタートしていました。4月1日辞令交付式もそこそ

こに会議を開きまして、早い段階で対策委員会（「新型コロナウイルス感染症対策委員会」）を発足し、各キャンパスや事務局とテレビ会議も活用し、あらゆることを決めるようにしました。ほぼ毎週対策会議を開催することで、教職員が一致団結して様々な課題に対応してくることができました。

東洋大生の特徴は、
誠実で素直、困っている
人がいたら助けたい。
それが大好きなところです

東洋大学 学長
矢口 悦子〔やぐち えつこ〕



会長 オンライン授業の開始も早かったですね。

学長 4月27日から開始したのですが、実はこれには反対が少なくありませんでした。他の大きな私立大学が5月連休明けからオンライン授業を開始するという状況下、本学の方針は少数派だったのですが、教職員全員で力を合わせれば4月中に授業を開始できるのではないかと。その一念で様々な調整や対策を講じました。教職員の皆様におかれては、これまでに無い対応への苦労は計り知れないものだったかと思いますが、鋭意努力をいただいたお蔭で、色々な問題はありましたが、大きなトラブルを抱えることなく、実施することができました。

会長 先生方もオンライン授業に慣れるまでは大変だったのではないのでしょうか？

学長 本当に大変でした。これまでオンライン授業等の経験がない先生も多数いらっしゃいました。授業のためのシステムの使用にあたっては、「どこを押すんだ？」というところからスタートした先生もおられました。そのような中、教員同士の教え合いや、職員の方々等のサポートを通じて準備を重ね、何とかここまで来た、という状況です。

会長 学生の方も、オンラインで授業を受けるというのは初めての経験で、最初のうちはちゃんと出席になっているのかどうか、課題はどうやって対応するのか、戸惑っていましたが、何時間か受けているうちに、先生方の授業もスムーズにリズムに乗りだして、楽しめたようでした。一方で、学生からは毎回テストがあるとは聞いて

いました。

学長 6月頃から、学生たちより、「寝ても覚めてもレポート執筆で目が痛くなった」とか「ミニテストが多くて眠れなくなった」とか、そういう声が聞こえ始めていました。学生の苦労は本当に痛いほど伝わってきましたので、教員たちと相談して課題を減らすなどの対応を始めました。一方で、学生たちの学修時間はこれまでで最も多かったと思います。

会長 良いことなのでしょうね。

学長 学生たちがすごく力を付けていると実感している教員は多いです。大人数の授業でもオンラインですと結局一対一になりますね。一人ひとりの学びを支える形になったということで、真面目に学んだ学生さんはもう相当なところまで到達していると褒めている教員もおります。ただ、オンライン授業が学生にとって本当に豊かな学びになったかどうかを検証できていないところもあります。また、生活面や学習面の負担が多すぎて気持ちが萎えてしまった学生のフォローも重要な課題として顕在化していますので、そうした学生への支援を大事にしていこうと、全学科に支えるための仕組みを作ってもらっているところです。

会長 大学の4年間というのは人生の中でも非常に貴重な時期ですね。そこでちょっと振り返っていただいて、矢口学長の学生時代のお話をお聞きしたいのですが。

学長 私は教育学を専門にしていました。最初は学校の教育学に興味を持っていたのですが、途中で



南水会は スポーツに文化芸術に 学業を頑張る学生を 応援しています

東洋大学 南水会 会長

川本 正信〔かわもと まさのぶ〕

「学校」というところにいろいろ疑問を感じ始めました。教室での先生の力がすごく強かったり、時として画一的だったり、それから子供の人生に影響を与えるということの怖さを感じてしまいました。そして、ある時から青年や大人の学びに興味を持ち始めました。

大学3年生の時に、第二次世界大戦後の青年たちが、「教師も信じられない黒板も信じられない、信じられるのは自分たちの現実の生活だ」ということで、「共同学習」を始めたということを知りました。教師もいない黒板もないところで、どうやって学んだのだろうと思い、当時の記録が多く残っていた山形に何回か足を運んで、そういう運動に関わった方々の話を聞いてきました。農村が大きく変わっていく中で、どうやって自分たちの学びを作っていたのか、生きるために学ぶということを知りたいと夢中になって話を聞きました。それを卒業論文にまとめました。

会長 とても興味深いお話です。すべて自主的に始めているのですね。何を教え合えば良いのか戸惑うと思うのですが、ゼロから積み上げていったのですね。

学長 そうなのです。いま言われているようなアクティブラーニングで、若い人たちが学びを作っているのです。それが面白くて、学校が終わったあとの青年や大人の学びを専門にしようと思いました。

会長 東洋大学では公開授業として広く一般の方も受講できる講座もありますよね。リカレント教育

も重要視されていると思いますが、東洋大学の公開授業もひとつのきっかけとして受講してみたいと思っています。

学長 ぜひどうぞ。公開講座につきましてもコロナ禍で悪戦苦闘しているのですが、オンラインでの実施も含めて様々な学びを提供できないか試行錯誤を始めています。

会長 東洋大学の学生について、真面目な学生が多いのかなと思っているのですが、学長から見た東洋大学の学生の特徴はどのように感じていますか？

学長 誠実さ、だどこに着任したときからずっとそう思っています。いろいろな学生がいますが、どちらかというと派手というよりは地味で、誠実で、人を押しのけていくとか、意地悪なことをするとか、そういうところは見えない。素直だし、困っている人がいたら助けたいって、ずっと手の出る感じがあります。そこが大好きなところですよ。

会長 社会人として生きていく上でも、誠実さというのはとても大切なことですね。それは人と接することで磨かれていくものですね。

学長 少しずつですが対面授業も始まっています。今も1年生が、初めてキャンパスに入った学生たちがうれしそうにしていました。嬉しさのあまり、ちょっと油断すると固まりになり、「はい、密ですよ」と言われてしまったり。本当に「うれしそう」に構内で道に迷っていたりして、微笑ましいですね。(笑)

会長 全国区の総合大学としての東洋大学に期待して

いるのですが、首都圏以外から入学してくる学生が減少傾向にあると思っています。私自身も子供たちも大学で地方出身の同級生との出会いがとても新鮮で刺激的でした。私は大学で長崎出身と鹿児島出身の友達ができ、3人で話をするときは標準語で話してくれるのに、彼ら2人で話すときは九州弁で話されて、何を言っているのかさっぱり分からない。同世代なのにいろいろなところで差異を見つけて楽しんでいました。そういう意味でも、首都圏だけの大学になって欲しくない。全国から学生が集まってくる総合大学であり続けて欲しいと思うのですが、いかがでしょうか？

学長 おっしゃるとおりです。10代から20代へ、人生の中で様々なことを吸収できる時期に、ここで学び、東京を楽しんで、それから自分のふるさとの良さに気がついてまた戻っていくとか、やっぱり日本中に友達ができるっていうのは一生ものですね。それが東京にある大学ならではの面白さではないかと思います。

会長 ちょっと甬水会のPRになってしまうのですが、東洋大学甬水会は学生の活動を応援させていただいています。スポーツに文化、芸術に学業に頑張る学生を応援しています。奨学金など、支援にも力を入れているところです。

学長 東洋大学コロナ対策特別奨学金「RIBBON」にご寄付をいただきましてありがとうございます。1,000人近い学生に給付させていただくこと

ができました。そのおかげもありまして、今年度退学数は今のところ去年より少ない状況です。

会長 甬水会の活動でスポーツ応援がありますが、東洋大学はスポーツも強い。親同士で応援するのもすごく盛り上がるし楽しいものなのですが、それが多くの大会が無観客だったり、応援自粛で応援活動ができないのも寂しいです。

学長 駅伝も沿道での応援は自粛しますと誓約しないと大会に参加できないのです。

会長 今期はテレビやインターネットを通じて、心をつなげて応援したいと思います。

学長 そういう支えがいちばんうれしいところです。オリンピック、パラリンピックもどうなるかわかりませんが、現役もOB・OGも、まだまだ可能性のある人たちがいます。

会長 同じ東洋大学のOB・OGが頑張っているのだから僕たち現役も頑張ろうっていう気持ちになってくれるとうれしいですね。親としても東洋大学出身と聞くと親近感が湧きますし、応援しようっていう気持ちになります。

学長 アスリートの方たちも真面目なのです。顕著な活躍をしている人たちもすごく謙虚で、コツコツ努力していて、レポートや卒論もしっかり書いていました。面白いと思いますね、気質が、東洋のそういう雰囲気がありますね。

会長 本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。これからの東洋大学の更なる発展に期待しております。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスク着用で対談しました。

白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

文・経済・経営・法・社会・
国際・国際観光学部・国際地域
イブニングコース（第2部）
大学院



敷地：3万6,412㎡／校舎：11万2,712㎡

MAP



ACCESS

- JR巣鴨駅から浅草寿町行バスで10分 東洋大学前下車
- 都営地下鉄三田線で白山駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄三田線で千石駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ南北線で本駒込駅下車 徒歩5分

東洋大学は1887（明治20）年に井上円了博士によって本郷区龍岡町（現・文京区湯島）の麟祥院内に「私立哲学館」として創立されました。1897（明治30）年より小石川区原町（現・文京区白山）に校舎を構え、この地とともに歴史を歩んできました。創立100周年を機に、高層集約化による近代的なキャンパスとなり、文系学部・イブニングコース（第2部）・大学院の学生、約21,000名が通学しています。

創立者の立像が見守る「雨水の森」は、地形を活かした緑と水のオープンスペースが評価を受け、2003（平成15）年度に文京区の第3回文の京都市景観賞「景観創造賞」を受賞しました。

5号館は、井上円了ホールと井上円了記念博物館があり、創立者を記念した建物となっております。

6号館は、西門のポケットパークやシンボルツリー（大楠）、屋上緑化が評価され、2005（平成17）年度第5回文の京都市景観賞「景観創造賞」や、2006（平成18）年度 東京都環境賞「知事賞」を受賞しました。

創立125周年を迎えた2012（平成24）年に「研究開発」「国際化」「交流・発信」の機能を備えた125周年記念館（8号館）、9号館が完成。

2017（平成29）年に10号館が完成しました。タワー型の2号館からは副都心を一望できます。キャンパス内には複数の学食スペースがあり、メニューも豊富に取り揃えています。

お問い合わせ先

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	総務課	03-3945-7224
●教務関係		
	文学部	03-3945-8544
	経済学部	03-3945-8423
	経営学部	03-3945-7602
	法学部	03-3945-8547
	社会学部	03-3945-8538
授業・成績等	国際学部	03-3945-4233
	国際地域学部国際地域学科	
	国際観光学部	03-3945-4248
	国際地域学部国際観光学科	
	大学院	03-3945-7250
証明書音声ガイド	各学部共通	03-3945-7225
●学生生活関係		
奨学金	学生支援課	03-3945-7124
アルバイト・下宿・アパート		
サークル活動		09-3945-7262
運動部関係		03-3945-7809
保健管理室		03-3945-7278
学生サポート室		03-3945-7265
学生サポート室（障がい学生支援）		03-3945-8673
●キャリア・就職相談	就職・キャリア支援部	03-3945-7280
●留学関係	国際教育センター／国際部	03-3945-7559
●学費関係	財務課	03-3945-7305
●寄付・募金関係	募金課	03-3945-7498
●入試	入試課	03-3945-7272
●図書館関係	白山図書館	03-3945-7325

朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1

ライフデザイン学部

朝霞キャンパスは、池袋からわずか18分の東京都心に近い埼玉県南部の武蔵野の自然が多く残る朝霞市の東武東上線朝霞台駅とJR武蔵野線北朝霞駅より徒歩10分のところにあります。キャンパスのすぐ近くを流れる黒目川は朝霞市の桜の名所であり、花まつりや人々の憩いの場所となっております。

朝霞キャンパスで学ぶライフデザイン学部は、諸資格取得のための実習授業が多いことも特徴の一つです。そのため、キャンパス内には、多様な授業目的のための実習設備が完備され、より実践的な知識や技術を学ぶことができます。例えば、介助技術の授業のための介護実習室、入浴実習室、調理実習室などや、保育士、幼稚園教諭の授業のための保育実習室、音楽実習室、ピアノ練習室などがあります。テニスコート、サッカー・アメフト競技用の人工芝グラウンド、ソフトボール場、体育館にはアリーナのほか、トレーニング機器を設置しているトレーニング場があり、これらの体育施設は授業のためだけでなく、学生の課外活動などでも広く利用されています。また、デザインや制作などの授業や演習で使用する実験工房には各種演習用の工作機械室や学生がいつでも作業できるアトリエスペースが設置されており、学生がものづくりに専念できる環境を備えています。

その他、大型絵本のある図書館や学生の課外活動のためのコミュニティセンターなどがあります。キャンパスの中央には木々に囲まれた憩いの広場があり、休み時間や空き時間には友人とおしゃべりをしたり、軽く体を動かしたりする学生が多く見られます。

お問い合わせ先

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	朝 霧 事 務 課	048-468-6311
●教務関係		
履修・成績・試験 学籍・証明書	朝 霧 事 務 課	048-468-6451
●学生生活関係		
サークル活動	朝 霞 事 務 課	048-468-6408
奨学金		048-468-6457
学生相談室		048-468-6462
医務室（健康管理）		048-468-6607
●キャリア形成支援関係		
キャリア形成支援（就職）	朝 霧 事 務 課	048-468-6461
●学費等関係		
学費	朝 霧 事 務 課	048-468-6321
●入試関係（ライフデザイン学部）		
入試	朝 霧 事 務 課	048-468-6461
●図書関係		
図書館	図 書 事 務 課	048-468-6331

事務局へご質問・ご相談等ありましたら、ご遠慮なく各キャンパスのテレホンガイドによりお尋ねください。担当部課室の電話は、すべて直通となっております。（お電話受付時間）

平日 9：30～12：45、14：00～16：45

土曜 9：30～12：45

なお、電話の場合は、必ずご自分の姓名と「学生の学科・学籍番号・名前」を申し出てください。申し出のない場合は、お断りする場合もございます。また、内容によってはお電話ではお答えしかねる場合がございますことを合わせてご了承ください。

※2021年4月以降のお問い合わせ先電話番号は本学HPIにてご確認ください。



敷地：6万9,774㎡／校舎：3万2,797㎡

MAP



ACCESS

■池袋駅から東武東上線で急行18分 朝霞台駅下車 徒歩10分

■JR武蔵野線北朝霞駅下車 徒歩10分



完成予想図（2021年竣工予定）

パース図提供：東洋大学赤羽台キャンパス設計管理共同企業体
（隈研吾建築都市設計事務所・日本設計・戸田建設）

2021年4月に朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスに移転するライフデザイン学部・ライフデザイン学研究科。現在建設中の地下1階・地上9階建ての新校舎は、新国立競技場などを手掛ける隈研吾建築都市設計事務所が建築設計を担当しています。各種実験・制作工房や介護・保育等実習室を設置し、より実践的な教育・研究を推進します。

川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院総合情報学研究科
大学院学際・融合科学研究科



敷地：28万6,981㎡／校舎：7万7,391㎡

川越キャンパスは、1961（昭和36）年に工学部の学生が学ぶキャンパスとして開設されました。現在では理工学部、総合情報学部、大学院に在籍するおよそ5000名の学生が学ぶ場となっております。東京ドーム約6個分という広大な敷地を活かし、「物創り工房」や「バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター」など多くの研究施設を設置しています。数学・物理・英語などの基礎科目に対応した「学習支援室」や留学、海外インターンシップ、語学学習などについて支援する「グローバルコミュニケーションスペース（GCS）」などの学習施設も設置しています。また、部活動、サークル活動も盛んで、川越だけで50以上のサークルが活動しています。

その一方で、陸上競技場やラグビー場、野球場など各種グラウンドを備え、2018年3月には国内では珍しい屋内走路を併設した体育館を新築いたしました。また「大越記念庭園」や新西門から始まる「こもれびの森」等の豊かな自然を持つキャンパスでもあります。

その他、川越市と協力して行っている地域連携プログラムや一般の方に参加いただける「オープンカレッジ」、「こもれびの森・里山支援隊」など学外と協働した事業も行っております。

MAP



ACCESS

■池袋駅から東武東上線で急行38分
鶴ヶ島駅下車 徒歩10分

お問い合わせ先

ご案内事項		取扱い窓口	電話番号
●教務関係			
履修・成績・試験・学籍	教 学 課	049-239-1312	
教職・各種証明書			
●学生生活関係			
奨学金・クラブ・サークル活動	教 学 課	049-239-1314	
アルバイト ※	㈱ナジック・アイ・サポート	03-5466-1236	
下宿・アパート ※	㈱ミニミニ城北	049-228-8832	
学生相談室	教 学 課	049-239-1544	
医務室（健康管理）		049-239-1317	
※川越キャンパスでは業務委託をしております。			
●就職関係			
求人受付	教 学 課	049-239-1641	
就職相談			
●学費・入試関係			
学費	総 務 課	049-239-1303	
入試関係	教 学 課	049-239-1392	
●図書館関係			
図書館川越	図 書 館	049-239-1321	
●キャンパス代表			
その他上記以外のお問い合わせ	総 務 課	049-239-1300	

板倉キャンパス

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

生命科学部・食環境科学部
大学院（生命科学研究科・食環境科学研究科）

板倉キャンパスには現在、生命科学部、食環境科学部、大学院生命科学研究科、食環境科学研究科の2学部2研究科が設置されており、約1800名の学生が勉学に励んでいます。

キャンパスには多くの実験設備や学習環境が整えられており、中でも5号館は「シーズ（生命の種）」をモチーフとしたガラス張りのモダンな設計となっています。36の実験室、10の共通機器室には最新の実験機器を設置しており、学生・教員が日々、研究活動に励んでいます。また、3号館には管理栄養士を目指す学生向けに給食経営管理室等が設置され、一度に約100人分の大量調理が可能な設備等も揃っています。

生命科学部全学科及び大学院研究科、食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻並びに健康栄養学科及び大学院研究科は2024年に朝霞キャンパスへ、食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻は2023年度に赤羽台キャンパスへ移転することが決定しています。

なお、今年度入学生までは修学予定期間の4年間は板倉キャンパスで勉学することになりますので、安心して学業に専念し充実した学生生活を送ってください。



敷地：33万1,963㎡／校舎：3万4,279㎡

お問い合わせ先

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	板倉事務課	0276-82-9111
●教務関係		
生命科学部	板倉事務課	0276-82-9138
食環境科学部		
大学院		
●学生生活関係		
奨学金	板倉事務課	0276-82-9172
サークル活動		
アルバイト		
学生相談室	学生相談室	0276-82-9132
医務室（健康管理）	医務室	0276-82-9123
●就職関係		
就職相談	板倉事務課 （キャリア形成・就職支援室）	0276-82-9172
●国際交流関係		
海外留学	板倉事務課	0276-82-9118
●学費等関係		
学費	板倉事務課	0276-82-9111
●図書関係		
図書館	図書事務課 （板倉）	0276-82-9061

MAP



ACCESS

■池袋駅からJR宇都宮線（湘南新宿ライン） 東武日光線で72分
北千住駅から東武スカイツリーライン 東武日光線で63分
板倉東洋大前駅下車 徒歩10分

赤羽台キャンパス

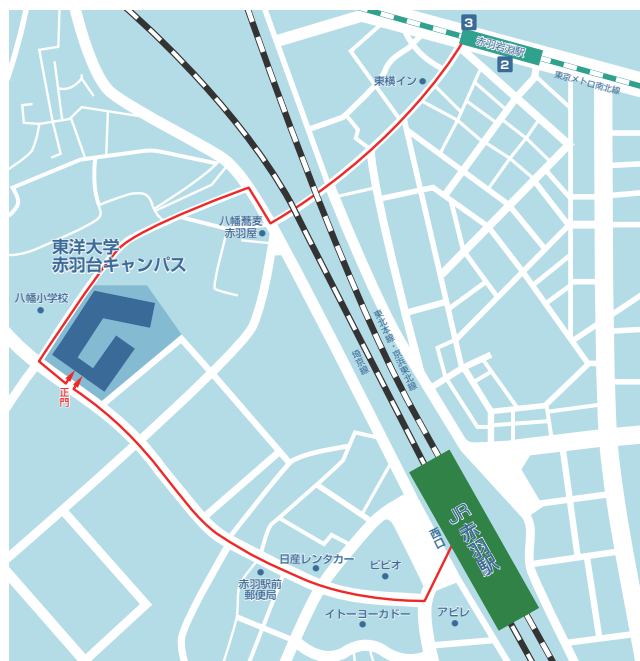
〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11

情報連携学部
大学院（情報連携学研究科）



敷地 約40,000㎡ 校舎 約18,000㎡

MAP



ACCESS

■JR赤羽駅下車 徒歩8分

東京メトロ南北線赤羽岩淵駅下車 徒歩12分

赤羽台キャンパスの最寄り駅、JR赤羽駅は、都心のみならず、横浜、大宮ほかの主要地点からのアクセスにも優れています。駅からは近いながら、駅周辺の喧騒から離れ、住宅街の落ち着いた環境の中にあります。

情報連携学部（Information Networking for Innovation and Design：通称INIAD）では、コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成しています。

INIADの多くの授業は、少人数教室でのディスカッションやチーム学習を中心に行っており、また、従来の教室とは異なり、黒板もホワイトボードもありません。学生は各々自分のパソコンを大学に持参して、インターネットを通じて、事前に配布される教材や授業で出た課題に取り組んでいます。

また、本のない図書館であるメディアセンターで、学生は電子ブックや電子ジャーナルで調べものをしたり、グループで集まって学習したりしています。学生には必要な情報を、紙の掲示板ではなく、すべて校舎内のデジタルサイネージやメール等でお知らせしています。

INIAD専用の校舎INIAD HUB-1は、最先端のIoTビルディングで、建物自体がIoT教材でもあります。教室や部室の鍵や照明、空調、ロッカー、エレベーター、各種のセンサーなどの様々な設備がインターネットに接続され、学生を個々に識別するだけでなく、学生は定められているルールの範囲内で、自分たちの環境をプログラミングによってより使いやすくしていくことができます。

なお、2021年度には、ライフデザイン学部が朝霞キャンパスから移転いたします。そのため新校舎の完成も間近です。当キャンパスの一層の発展が期待されます。

お問い合わせ先

お問い合わせはEメールでお願いいたします

取扱い窓口	Eメールアドレス
赤羽台事務課	ml-iniad-fs@toyo.jp

学部紹介

文学部

Faculty of Letters

文学部には現在、哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科の7学科があります。東洋大学13学部のなかで最多の学科があり、広範な領域で教育・研究が展開しています。1928年（昭和3）に東洋本学は、大学令により「大学」として正式に認可されましたが、そのとき唯一設置されたのが文学部です。当時の学則は、「本学は哲学・文学・其他高等なる學術の理論及応用を教授し、並に其蘊奥（うんおう）を攷究（こうきゅう）せしむるを以て目的とす」（第1条）と定めています。さらに本学はその約40年前、1887年（明治20）に学祖井上円了が創立した「哲学館」に遡る、哲学を基礎とした建学の精神に立脚しています。戦後は総合大学化し、また近年、学部新設と改組が続きました。それに呼応して文学部自身も、グローバル化や、多様な社会的ニーズに応じて変容してきました。しかし、そこに通底する目標は、「ことば」を通じた真理の探求、人材の育成であり、読む・書く・考える力を養成し、着実に「ものの見方・考え方・表現の仕方」を身につけ、社会に有為な人材を送り出すことにあります。

経済学部

Faculty of Economics

経済学部は、文学部に次いで二番目に古い歴史を持つ伝統ある学部ですが、常にその時代の先端を見つめ「経済学のいま」を深く追究する先見性が豊かな学部でもあります。現在、経済学部には、経済の理論と実証を徹底的に学ぶ経済学科、国際的な経済活動の把握と解明に重点を置く国際経済学科、日本の現実の社会・経済が抱える問題を深く考える総合政策学科、時間を有効に活用して経済学を学べる経済学科（イブニングコース）と学生のニーズに対応した多種多様な4学科で構成されています。

経済のグローバル化が進展する中、異常気象に代表される地球環境問題、飛躍的なIT技術の革新による社会構造の変貌など、これまでにない大変化が社会・経済に起こっています。来年度から実施される2021カリキュラムは、こうした経済・社会の複雑性・多様性に対応した科目配置となっており、現在の経済・社会が抱える諸問題を理解し改善する方策を提示できる人材を育成してまいります。

経営学部

Faculty of Business Administration

経営学部の海外研修と資格取得支援

経営学部では泰日工業大学との協定に基づいた10日間のタイ研修、オックスフォード大学での3週間にわたる海外研修を実施しています。いずれも学部の独自色あるプログラムであり、参加した学生はグローバルな視野を拓けています。また、各種資格取得支援に力を注いでおり、難関資格である公認会計士、税理士合格者をコンスタントに輩出しています。

本年はコロナ禍により海外研修や対面の課外講座実施が叶わず、心苦しい思いでございましたが、オンラインで実施した各種課外講座には積極的な参加があり、ことに過日合格発表があった中小企業診断士講座では複数の学生が1次試験合格、科目合格を達成しました。困難な状況に負けずに学習に向き合った学生のためゆめ努力を称えたいと思います。

多数の御父母の皆様から学部指定のご寄付を頂戴いただいていることにも篤く感謝申し上げます。ご寄付は学生の学びに確実に還元してまいります。

法学部

Faculty of Law

法学部には、第1部法律学科、企業法学科、第2部法律学科が置かれており、約2700人の学生が学んでいます。第1部の両学科では、各人の興味関心、将来の希望に応じた科目を履修する「履修モデルコース」を3コースずつ設定しています。第2部法律学科では、社会人学生も在籍していることから、様々なニーズに応えることができる教育課程表となっています。

法学はいわゆる「実学」であり、大学で学んだことは仕事、日常生活で活かせるだけでなく、様々な資格試験、検定試験にもつながります。法学部では、各種資格試験、検定試験を見据えた授業科目を開設しているほか、合格者を表彰し、受験を推奨しています。

また全学の国際化に向けた方針の下、学部独自の海外研修を用意しています（本年度はコロナウイルス禍により中止）。英語・初習外国語の授業については、4年間継続して履修できるほか、外国語による授業も開講し、国際志向の学生のニーズに応じています。

社会学部

Faculty of Sociology

社会学部は1959年に発足して以来、理論・実証・実践を柱に教育体制を構築してきました。社会学の理論的な知識を学び、社会の諸問題を調べるための実証的な方法を身につけ、研究成果を社会に役立てるための実践的活動を行うというものです。発足当時の第1部2学科と第2部1学科の3学科体制から、現在の第1部5学科と第2部2学科の7学科体制に至るまで、この柱は変わっていませんが、社会で生じる問題が時代とともに多様化し増大してきたことに応じて、学部も拡大の一途をたどってきました。

学部教育の具体的な特長としては、実証的方法を学ぶための「実習」の充実をあげることができます。全学科に共通する「社会調査および実習」に加え、学科ごとに独自の实習科目を置いており、学生のみなさんが受け身の姿勢ではなく、自ら進んで調査や観察、実験などを計画して実施し、結果の報告や議論を行うという、「アクティブラーニング型」の学修に力を注いでいます。

国際学部

Faculty of Global and Regional Studies

2017年度に新設された国際学部は今年度で4年目を迎え、2学科で約1600名の学生が学んでいます。グローバルな視野から社会システムのイノベーションを創出し、また地域の自律的な発展に貢献しうる人材を育成することを目標としており、4年生となった1期生がその集大成である卒業論文を仕上げ、今後社会に巣立ち活躍していくことを期待しているところです。

本学部では、留学生とともに学ぶグローバルな教育環境を整えるとともに、海外留学やさまざまな研修、フィールドワークを実施するなど先進的なグローバル教育を展開してきました。しかし現在のコロナ禍においては、このような海外や学外に出て行う実践的な教育プログラムの中止や変更を迫られております。そのような中で、海外大学と連携したオンラインでの相互履修やオンラインでの研修や実習など、さまざまな工夫を凝らしながら先導的なグローバル教育を維持、展開しております。

国際観光学部

Faculty of International Tourism Management

昨年度までの日本では、訪日観光客数が3,000万人を突破し、国際観光が急速に伸長していました。そして、さまざまな国ぐにや地域から多数の観光者を迎え入れていました。

ところが、本年は、拡大するコロナ禍により、国内・国際観光客が一斉にいなくなりました。この現状をみると、観光は「戦争や疾病がない平和な時代の産業」であると痛感いたします。そして、観光が隆盛になる平和な時代に一日でも早く戻れることを祈願しています。

未来の観光は、日本の主要な産業となると信じていますが、しばらくは厳しい時期を迎えると思います。だからといって、このまま停滞し続けることはできません。

世界の歴史を振り返ると、経済的に困窮していた時代に、優秀な組織と、そうでない組織との差異が明らかになることがわかるからです。そのため、当学部は、いまが正念場だと思い、より一層教育・研究に精進し、苦境を脱した後に、他を凌駕する存在になりたいと考えております。

国際地域学部

Faculty of Regional Development Studies

当学部は、1997年4月に板倉キャンパスにおいて1学部1学科体制で創設されました。その後、国際観光学科、国際地域学科国際地域専攻を組み入れ、1学年約600名の学生を擁する学部が発展してきました。そして、2013年4月から白山キャンパスで活動しております。

しかし、学部内の国際地域学科、国際観光学科が、それぞれ国際学部、国際観光学部に分離独立し、本年3月に、当学部に入学者最後の学生が卒業した結果、留学などの理由で卒業が延期になった学生を除き在籍学生がいなくなりました。今後は、履修指導を徹底することで、在学生全員が卒業できるように支援したいと考えております。

ライフデザイン学部

Faculty of Human Life Design

ライフデザイン学部は「人とその生活」の学び舎であり、現在世界的に推進されているSDGs（国連による持続可能な開発目標）達成への貢献が期待される学部です。

生活支援学科は、生活支援学専攻と子ども支援学専攻によって構成されており、高齢者・障害者・低所得者などの支援を行うためのソーシャルワークや、子どもの成長や子育て支援の方法を学ぶ学科です。健康スポーツ学科は、人々の豊かな生涯生活を実現し、健康を維持・増進、さらには健康寿命延伸のためのスポーツ活動に関する知識と技術を学ぶ学科です。また人間環境デザイン学科では、ユニバーサルデザインを軸とした、人の生活環境・空間・製品に関する「モノとコト」のデザインを学びます。

2021年4月、ライフデザイン学部は朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転します。教育・研究活動においてより一層の飛躍を遂げ、赤羽台にライフデザイン学の拠点を築いていきたいと考えています。

理工学部

Faculty of Science and Engineering

理工学部は、1961年（昭和36年）川越キャンパス開設に合わせて設置された工学部を前身に、2009年（平成21年）の再編により誕生しました。機械工学科、生体医工学科、電気電子情報工学科、応用化学科、都市環境デザイン学科、建築学科の6学科に約3,500人の学生が学んでいます。

教育の特色の一つに学習支援体制が充実していることが挙げられます。理工学分野の基礎となる数学・物理をはじめとした科目でのつまづきを防ぐため、元高校教員のスタッフを常駐させた学習支援室を設置し、日常的に学びのサポートを行っています。また、エンジニア教育の充実のため、大学院との接続も積極的にすすめています。

グローバル化の進展により留学生数も増加し、国際色豊かなキャンパスになりました。英語教育にも力を入れており、グローバル・コミュニケーション・センター（GCS）によるTOEIC対策や留学サポートにも積極的に取り組んでいます。

総合情報学部

Faculty of Information Sciences and Arts

総合情報学部は、1学部、1学科、3コース制で、1学年の定員は260名です。

学部の特色は、情報を核にした、文系・理系・制作系を幅広くカバーする文理融合教育です。

システム情報コースでは、ICTの開発・管理・運営に関わるAI・システム開発系と、経営等の様々な分野でICTを活用して問題解決を図るデータサイエンス系の2系統で教育を実施します。

メディア文化コースでは、メディアの基礎から応用を学び、コンピュータで様々な現象を表現する能力、多様なメディアコンテンツ、アプリ、CG、ゲーム等を自在に作成する能力、放送局のようなWEB配信をする能力を養います。

心理・スポーツ情報コースでは、パーソナルトレーナーやメンタルトレーナー、スポーツデータアナリストを育成します。心理分野では、「公認心理師」など、心理学の専門家を目指せます。科学的に理解・説明できる能力を養い、IT技術を応用した心理学も学べます。

生命科学部

Faculty of Life Sciences

遺伝子操作や細胞融合などからスタートしたバイオテクノロジーは、理学・農学・工学・医学などの分野で発展し、大きな技術革新を起こしました。これらの分野で行われていた「バイオテクノロジー」を統合したのが「生命科学」です。

東洋大学は1997年4月、他大学に先駆けてこの領域の重要性に着目し、生命科学部を誕生させました。2013年には現在の「生命科学科」と「応用生物科学科」の2学科体制になり、生命科学部は今年で24年目を迎えます。

今、生命を脅かす急激な環境変動や新たな病原微生物感染症の全世界的流行など“いのち”をとりまくさまざまな問題がクローズアップされ、このような課題に対して、生命科学分野からの貢献が期待されています。生命科学部は、生命現象の謎を遺伝子レベル、細胞レベル、個体レベルで明らかにし、学んだ知識と技術を用いて、医療・環境・農・食・教育などの分野で社会の発展に貢献できる人材育成を目指します。

食環境科学部

Faculty of Food and Nutritional Sciences

板倉キャンパスでは、1997年に生命科学部が創設され、当初は生命科学科のみでスタートしました。2009年には、応用生物科学科と食環境科学科が創設され3学科となりました。2013年には、新たに「健康栄養学科」を設け、生命科学部から分離した食環境科学科とともに、「食環境科学部」が創設されました。

食環境科学部が開設された社会的背景はいうまでも無く「食と健康」です。平均寿命の延長と出生率の長期的な低下により、2050年には、高齢化率が40%となる超高齢社会を迎えるとともに、食生活の多様化による食習慣の乱れや運動不足による生活習慣病が増加し、食と健康に関わる問題がクローズアップされています。

そこで、食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活が送れる社会づくり、国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現、平均寿命の延伸に貢献しています。

2024年には、朝霞キャンパスに移転予定であり、食環境科学部の更なる強化策を検討しています。

情報連携学部

Faculty of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学部（Information Networking for Innovation and Design:INIAD）では、文理の枠を超えて、ネットワーク時代に対応した、新しいイノベーションを起こせる人間を創出することを目的としています。

1年次ではすべての学生がプログラミングとコミュニケーションを集中的に学び、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通じて連携するための素地を身に付けます。

2年次からは情報連携エンジニアリング、情報連携ビジネス、情報連携デザイン、情報連携シビルシステムの4分野に分かれて専門分野を学びますが、3年次には多様な専門分野をもった学生たちが、社会に出たときのように協力し合い、モノやサービスを作るというコース横断の連携実習も行っています。

さらに、最先端のIoTビルである赤羽台キャンパスと、社会や企業等との連携によって、学生がチャレンジできる環境を整え、創設者井上円了先生が掲げた教育理念である、自分で考えて行動できる学生を育てていきたいと考えています。



国際部の 窓口から

新型コロナウイルス感染症の 拡大とその対応

国際部 部長 高橋 清隆

2019 年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は、未だ全世界中に大きな負の影響を与え続けています。

正式名称は「COVID-19」。「コロナ (Corona)」、「ウイルス (Virus)」、「病気 (Disease)」,そして2019年の組み合わせにより命名されました。この、COVID-19は優れた戦略を有しています。無症状・軽症な人でも他者に感染させるため封じ込めが難しく、水面下で静かに拡散させていくからです。当初、若者は感染しにくいとされていましたが、その後、多くの発症事例が報告されました。WHOによれば、2020年9月18日現在、世界の感染者数は29,737,453人、死亡者数は937,391人、感染者は一日30万人増加しています。日本国内の感染者数は77,009人、死亡者数は1,473人となり、高齢者を中心に、経済人、スポーツ選手や芸能人まで幅広い犠牲が出ています。世界経済はリーマン・ショック時以上の大打撃を受け、世界で多くの雇用が失われ、教育面では学校の休校による教育格差や情報格差が問題となっています。

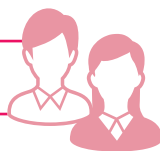
このような状況下、本学では、この春休み中に海外に留学していた192名の学生に対し、留学の中止並びに帰国について勧告を行いました。派遣担当の職員は、学生皆さんの留学に至るまでの努力や苦勞を熟知しているので、後ろ髪を引かれる思いでした。留学先の授業がオンラインになり、外出規制が発令されれば大学の施設設備も使用できず、留学の意義が薄れます。また、何よりも心配したのが医療についてです。万が一感染した時に、外国人も平等に診察してもらえるか、また英語により診療や看護をしてもらえるか及び学生一人で入院生活を送れるかが最大の懸念点でありました。外務省の感染症危険情報が更新されたことに伴い、2月18日に中国に留学している学生に対し最初の帰国勧告を行いました。その後、3月初旬にイタリア・韓国、3月中旬以降にアメリカ・オーストラリアほか、全ての国に派遣している学生に対し帰国勧告を行いました。当初は、学生のみならず保護者や本学の教員か

らも、帰国勧告に対して「安全な状況なのになぜ帰国しなくてはならないのか」とご意見をいただきましたが、結果として、全派遣学生に対して行った帰国勧告は正しかったと思っています。

人口の規模は世界各国で異なるため、感染者数の単純な比較ではなく、人口1万人当たりの感染者数を注視していました。3月13日前後から各国のその数値が上昇していき、3月20日にはオーストラリアの数値が日本の数値を上回りました。帰国の判断を学生自身に委ねる方式もありますが、大学のプログラムである以上、その責務は主催者にあると考えています。また、派遣だけでなく受け入れも大きく減少し、今春の交換留学生112名のうち来日したのは3名のみでした。また一時帰国した留学生は、9月1日以降、ようやく日本に再入国できるようになりました。

今回の帰国勧告に当たり、その緊急性を鑑み、特例として帰国に関する費用を大学が支援することにしました。帰国便の再手配費用や新たに発券した航空券との差額、留学先の授業料や宿舍費用のうち、まだ対価を得ていないのに先方から払い戻しされない費用などをカバーしています。

本学は、2014年に、文部科学省よりスーパーグローバル大学として選定され、大学の国際化を強力に推進してきました。海外との交流を期待して入学された多数の学生の皆さんは、COVID-19により海外との交流が一時中断されることにより、その夢を実現できない状況にあります。そのため、今後、海外大学とのオンラインによる交流プログラムを構築し、授業の相互履修や共同のイベントなどを開催する予定です。また、このような状況下だからこそ、語学力をしっかりと身に付けるチャンスだと思っています。本学には英語の正課授業のほか、課外講座として、「英会話講座」「英語資格試験対策講座」「英語ライティング講座」を開設していますので、積極的に利用して頂き、海外との交流が再開した時に、その鍛えた英語力を思う存分発揮して欲しいと願っています。



「奨学金支援 2つのトピックと本学の対応」

学生部学生支援課 課長 笠原 隆

各キャンパスの学生生活担当は、学生一人ひとりが充実した学生生活を送り、多くの貴重な出会いを通して逞しく成長していけるようさまざまなサポートを展開しています。ここでは今年度の奨学金支援のトピックについてお伝えします。

【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルス感染症は奨学金支援にも大きな影響を与えました。例年対面で実施していた奨学金ガイダンスや面接、窓口での問い合わせ対応が一切できなくなり、すべての奨学金対応は急遽ホームページや学内情報システムと郵送を併用する形での実施としました。4月の大きなイベントである採用手続きでは、スタッフは連日夜遅くまで対応にあたりましたが、急ごしらえの対応ゆえ、わかりづらい点もあったのではないかと心苦しく思っております。

日本学生支援機構奨学金は、国および日本学生支援機構（以下、「JASSO」）からの要請に基づき、受付期間の延長や家計急変への措置など、可能なかぎり柔軟な対応に努めました。

世帯収入・アルバイト収入の減少による修学継続困難学生への対応として国が実施した「学びの継続のための学生支援緊急給付金」では、約2,600名を推薦しました。

本学独自の取り組みとしては、東洋大学新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」の新設が挙げられます。経済的にも精神的にも先の見えない不安の中にいる学生と、寄付者の支援を結びたいという想いが「RIBBON」の名称に込められています。校友・甫水会・役員・教職員をはじめとする皆様からの寄付を原資として、9月10日に約900名の学生へ支援を届けることができました。

例年実施している東洋大学第2種奨学金（経済的修学困難者奨学金、以下「東洋2種」）も新型コロナウイルス感染症の影響で失業されたご家庭の支えになったと考えています。

新型コロナウイルス感染症の経済への影響は、今後とも長期間に渡って続くと考えられます。引き続き必要な支援を提供していきたいと思えます。

【国による高等教育の修学支援新制度の開始】

2020年4月より、高等教育の修学支援新制度（以下、「新制度」）がスタートしました。「授業料等の減免」と「給付型奨学金」により、意欲ある学生の「学び」を支える国の新しい修学支援制度です。

国は新制度のために、令和2年度予算で約4,800億円もの額を計上しており、今後、大学における学生への経済支援はこの制度を中心に進んでいくことになります。本学でも約2,000名の学生が採用されており、給付型奨学金と授業料等減免を合わせると、年間で約20億円もの支援を受けている状況です。

支援対象は住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学部生です。家族構成によっては、「準ずる世帯」にあたる可能性もありますので、一度確認いただくことをお勧めします。JASSOホームページの進学資金シミュレーターで支援対象となるか、おおよその確認が可能です。2021年4月の新規採用募集の情報は、3月下旬に公開します。

原則返還不要で、以前よりも充実した支援額は、学生にとって非常に魅力的ですが、制度の仕組みが複雑でわかりづらいことは残念な点です。制度の定着とともに煩雑な手続きが整理され、学生にとってわかりやすい制度となることを願います。

【トピックを受けた本学の対応】

新制度を中心に据えた学生への経済支援を考えた場合、本学の各種奨学金、特に経済支援のための「東洋2種」も在り方を変える必要が生じます。支援の偏りを防ぐため新制度との併給を不可とし、新制度が受給できなかった場合に東洋2種を受給できる仕組みにするなど包括的な改善に取り組んでいます。

奨学金のお知らせは、ホームページの他、メールをはじめとする学内情報システムを通じて学生へ周知しています。周知の際は、学費を支弁されるご父母との情報共有（メール転送等）のお願いを記載するようにしています。学生から奨学金の情報は伝わっていますでしょうか？ご父母の負担の大きさを漠然としか把握していない学生は共有に至っていないかもしれません。

窓口や電話で学生とやり取りをしておりますと、自分の学費をきちんと把握し、必要に応じて奨学金やアルバイトで計画的に工面することが、その後の自身の進路に、目標と責任を持って臨んでいくことにもつながっているように感じます。学費の心配をせずに学業に励んでほしいという優しさと責任感から、学費の話をされないご家庭も多いのかと想像しますが、ぜひとも奨学金のお知らせの共有をきっかけに、学費の話、将来の話をさせていただきたく思います。

はじめに

平素より、就職・キャリア支援部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、各キャンパスおよび全国各地での父母懇談会は全てオンラインでの実施となりました。多くの皆様のご参加にお礼申し上げます。

さて新型コロナウイルスの影響は大学生の就活にも大きな影響を与えており、3月以降、合同就職説明会や企業説明会の中止や延期が相次ぎました。業績の悪化した企業の中には採用数の減や、今年度の採用自体を取り止める企業も出ています。ここ何年かの売り手市場は、この短期間のうちに変わったと言えます。

また今までの就活のプロセスにも変化が見られ、対面重視の選考が、オンラインを活用した非対面の選考中心へ一気に変わりました。

そういった大きな変化の中で、就職・キャリア支援部としては、変化に素早く対応した支援を今後も構築していきたいと考えております。

なお支援行事等のお知らせは、学生向けポータルサイト「ToyoNet-GやToyoNet-ACE」、掲示・学内放送・DMなどで行っています。以下、主な支援の概要を学年毎にご紹介します。(※以下は原稿を執筆している9月下旬現在の予定となります)

4年生の就職支援について

コロナ禍の影響で、春学期は就職相談や各種対策講座、企業説明会といった支援行事を、急遽オンラインに切り替えて実施しました。秋学期もコロナ感染症の状況を見ながら、各種支援行事をオンラインで行う予定です。

特にこれからは

- ①本学求人サイト(求人ナビ)の求人情報の活用
- ②学内の各種求人イベントの活用
- ③各キャンパスの就職相談員や職員による個別相談の利用

をお勧めします。

企業からの求人については、BtoBの企業を中心にまだまだ大学に来ております。求人は年明け3月までありますので、最後まで諦めず、粘り強く活動を続けましょう。

3年生の就職支援について

3年生についても、今年度の支援行事は全てオンラインを使い実施します。

就活本番前の大切なセミナーになりますので、今までの対面方式とは違ったオンラインの良さを活かした内容に出来ればと考えております。

主な行事としては

・就職活動支援セミナー(全7回)

- ①スタート編
- ②企業・公務員の情報収集の仕方
- ③志望動機編 ④自己PR編 ⑤ガクチカ編
- ⑥グループワーク・ディスカッション編
- ⑦面接対策編

・業界理解セミナー(業界を代表する企業・団体計24社参加予定)

・合同企業セミナー・説明会(約350社が参加予定)

といったものがあり、それと並行して「卒業生との就活応援座談会」「内定者報告会」「模擬面接対策」「模擬グループディスカッション対策」「SPI模擬テスト」等々の多様な支援行事も予定しています。

これらのセミナーに参加することが、就活を乗り切る準備になるとともに、これから社会で働くための準備にも、きっと役立つと思います。

1・2年生の就職・キャリア支援行事について

低学年のうちから将来の自分のキャリアを考え、そして就活をスムーズに進めるための参考になるよう、いろいろなセミナーをオンラインで配信しております。

以下は9月現在配信中の主なセミナーです。

- ・1年生のためのキャリアガイダンス
- ・2年生の今から始める就活支援セミナー
- ・1・2年生のためのインターンシップ講座(全4回)
- ・イノベーションを生む働き方とは
- ・地方就職・地方インターンシップガイダンス

これ以外にも多彩なプログラムを順次配信する予定です。授業の合間で結構ですので、ご活用いただければ幸いです。

今後も世の中の変化に対応したタイムリーな支援、学生個々に寄り添った支援を一同心がけますので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

I 納付金の納入方法と時期

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。

納付金について、毎年多くお問い合わせいただく内容を中心に説明します。

納付金振込用紙は、3月末に次の学年に必要な金額を記載し、郵送します。

①振込用紙の送付先

第1部……保証人住所

第2部……入学時に選択した、本人または保証人住所

転居等により送付先の変更を希望される方は、2月末までに、学生本人を通して届け出てください。

②納付金の納入方法

本学では納入方法として、次の2つの手段を導入しています。

銀行振込……金融機関窓口で納入する方法です。三井住友銀行の本支店窓口をご利用いただくと、手数料が無料になります。全国の他の金融機関でもお振込いただけますが、手数料はご負担ください。

ペイジー……金融機関ATMやインターネットバンキングからご利用いただける決済サービスです。手数料は税込330円の定額となっています。期間内であれば金融機関窓口の閉店後であってもご利用いただけます。

なお、大学窓口での現金による受付は行っておりません。

③納付金の分割納入

納付金は全額一括納入が原則です。ただし、授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料は、年2回の分割納入ができます。

全納……年間必要額を一括して納入

分納……年間必要額を春学期と秋学期の2回に分けて納入

全納用と分納用の振込用紙をお送りしますので、納入時に選択してください。分納を選択された方の秋学期用振込用紙は、9月末に大学より郵送します。

④納入期間

春学期……4月1日～4月25日

秋学期……10月1日～10月15日

納入締切日が土日祝日等で銀行営業日でない場合、変更となることがあります。振込用紙記載の振込期間を必ずご確認ください。社会情勢の変動により納入期間および振込用紙の発送時期が変更になる場合があります。

※修学支援新制度対象者は、納入期間を変更することがあります。事前にHP等でお知らせしますのでご確認ください。

II 納付金の内訳

納付金は、「学費」と「その他の費用」に区分されます。

学費……入学金・授業料・一般施設設備資金

学部・学科により、実験実習料・教育充実料

その他の費用……雨水会費・学生課外活動育成会費

III 学籍異動に係る納付金について

休学・退学・原級（留年）等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。

なお、休学・退学により徴収対象外となる学費がある場合は、返金いたします。

休学……各学期期首付での休学が認められた場合、一般施設設備資金の半額と、その他の費用を納めていただきます。

原級（留年）……4年生で原級（留年）する場合、当該年度の正規4年生の納付金と同額になります。そのため、前年度までと学費の金額が変わる場合があります。原級された後は、納付金の納入は学期ごとになります。

退学……各学期の納入期間内に退学の手続きが完了した場合、前学期末付での退学となり、納付金を納入する必要はありません。

なお、学籍異動の「許可願」が受理された日より学籍異動の効力が発生する日付が異なります。

申請手続きについて、ご不明な点は、各学部教務担当課にお問い合わせください。

IV 納付金についてのお問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など納付金に関するお問い合わせやご相談はテレフォンガイドを参照願います。また、東洋大学ホームページでも詳細をご覧ください。

甫水会活動

2019年度甫水会活動報告（2020年度評議員会資料抜粋）

2019年度事業報告

東洋大学においては、赤羽台キャンパスで発足する福祉系及び健康スポーツ系の新学部体制の整備など、既存の学部学科を含めて、「チーム東洋」の力を高め、全学を挙げて実効性ある改革が図られています。

東洋大学は知的拠点を目指して教育力と研究力、提案力と革新力を培養し、国際的に時代の期待に応えることを目指し、ワールドクラスの大学への道が着実に踏み出されています。

東洋大学甫水会は、1959年1月父兄会とし、設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2019年度で創立60年目を迎えました。

甫水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、60周年記念事業が会員とご子息ご子女各位にとって、実り多きものとなるように次の基本方針に基づき実施しました。

1. 60周年記念事業の実施
2. 経済的困窮学生支援に対する体制の充実（給付型奨学金支給の充実）
3. 学生に対する課外活動・食育・就職活動支援の充実
4. 甫水会主催行事の参加促進と本部及び支部活動の活性化のための体制整備

以下、去る2019年5月の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学との協働及び連携のもと執行した事業実施概要を報告いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

2019年5月25日12時より東洋大学白山キャンパス8号館7階125記念ホールにおいて、会則第21条に基づき開催され、評議員73名が出席して、議長、副議長選出、議事録署名人を選任後、議案について審議を行った。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、会則第4章役員第8条に基づき、開催された。

①2018年度 第2回理事会 2019年4月13日開催

②2019年度 第1回理事会 2019年10月26日開催

(3) 常任理事会

会則第4章役員第9条に基づき、月1回の定例会議（但し、7・8月は除く）を開催し、業務を執行した。

①2018年度 第9回常任理事会 2019年4月13日

第10回常任理事会 2019年5月11日

②2019年度 第1回常任理事会 2019年6月1日
臨時常任理事会 2019年8月3日
第2回常任理事会 2019年9月7日
第3回常任理事会 2019年10月12日
第4回常任理事会 2019年11月9日
第5回常任理事会 2019年12月7日
第6回常任理事会 2020年1月11日
第7回常任理事会 2020年1月25日
第8回常任理事会 2020年3月7日

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて業務を執行した。

(5) 役員選考委員会

会則第6条に基づき、全国56支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、2020年1月18日に開催した。

(6) 地区別支部長会議

会則第39条に基づき、本部・支部活動の円滑な連携と地区の活性化を目的とし、地区長主催で全国10地区において実施され、各実施日程は次のとおり。

関東15支部・甲信越3支部・北陸2支部（2020年1月25日）、北海道5支部・東北6支部・近畿4支部・四国4支部（2月15日）、東海4地区・中国5支部・九州8地区（2月22日）

(7) 全国56支部長研修会

2019年9月14日（土）に白山キャンパス2号館16階スカイホールで開催した。

本部主催で全国56支部長（代理含）の参加による、「甫水会諸規程集」および「支部関係業務処理に関する取扱い」を主とした研修を行った。

【行事】

(1) 創立60周年記念事業

①記念式典・祝賀会を5月25日に実施した。大学教職員及びご父母との接点拡大を醸成すべく、6月学部別父母懇談会と、10月27日に会員の集い・就職フォーラム終了後に甫水会会員と大学教職員との懇親会を実施した。

②井上円了像・四聖像（カント・孔子・釈迦・ソクラテス）・塩川前総長像の説明盤（英文含む）の大学への寄贈。国際化、留学生の増加、来訪者の増大により、英文を含むレリーフ設置の要請が大学側からかねてからあり、60周年を機に寄贈をした。

③甫水会独自のホームページ新規立ち上げ
甫水会独自のホームページを開設し、箱根駅伝応援ページも追加した。東洋大学ホームページとのリンクを確保して、甫水会と大学との情報の共有化を図ると共に、甫水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図った。

(2) 父母懇談会

①学生が在籍するキャンパス（白山、川越、板倉、朝霞、

赤羽台) ごとに「学部別父母懇談会」が6月に実施され、大学教職員による「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明及び個別面談がなされた。

②関東地区を除く全国26会場にて「地区別父母懇談会」が開催され、参加者は1,327名であった。

大学教職員及び本部役員が出張し、「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明・面談を実施した。

キャンパス	開催日	出席人数	
		組数	人数
白 山	6月30日(日)	692	961
川 越	6月22日(土)	188	259
朝 霞	6月29日(土)	82	105
板 倉	6月29日(土)	77	105
赤羽台	6月16日(日)	136	189
合 計		1,175	1,619

(3)会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、白山キャンパス井上円了ホールにおいて10月27日(日)に実施した。なお、遠隔地支部会員については、対象の会員学生1人当たり、在籍中1回に限り規定額の交通費を補助した。

2. 学生支援諸制度

(1)奨学生制度

①家計急変者対象(従来の浦水会奨学金)

「奨学生規程」に基づき、会員が不慮の事故等で家計の事情に急変が生じたために修学が困難となった学生に対し、常任理事会において選考の結果、奨学生として1名採用した。

②浦水会経済支援奨学金

大学と協議のうえ、東洋大学第2種奨学金に出願し、採用されなかった学生上位30名までの者から出願資格を満たした26名を採用した。

(2)学生の課外活動促進

①学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生クラブ・サークル活動(運動部・文化部・学術研究サークル・ゼミ等)に対し、学生部と連携して、申請が出された5サークル、スポーツ東洋新聞等広告掲載料を援助した。

また、学生部と連携して、より多くの活動に対し賞賛・奨励及び、1部体育会・2部体育会の団体の部8団体、個人の部49名への表彰と報奨金を援助した。

②大学所管部署と協議し、強化部以外の運動部への援助、文化系サークル活動促進援助として本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関する援助、学生団体による応援・広報活動の支援で応援や広報活動等を行っている学生団体に対し援助等試みが実施に至らなかった。

③正課外教育活動参加促進援助

学生の課外活動促進を目的に大学運動部への応援ツアー(ボクシング部、箱根駅伝)に参加した学生

に対し食事クーポン券を援助した。

(3)国際化の支援

今年度、大学担当部署と協議して支部行事の実施等試みたが、実施に至らなかった。次年度に向けて、実施体制の整備を図りたい。

(4)就職活動支援

①ビジネススーツ等購入支援(紳士服販売業者と提携して無料配布)

東洋大学第2種奨学金受給者(3年生)等及び浦水会奨学金受給者を対象に就活グッズ無料引換券を配布し、91名が交換した。

②就活グッズの作成配布

・参加者へ大学名入り履歴書を3,812名に配布した。
・「カードミラー」を1,500枚作成し、池袋サンシャインシティで実施した「東洋大学企業説明会11学部合同就活LIVE」等で配布した。

(5)学生の食育支援

引き続き大学からの申請に基づき2019年7月春学期5キャンパス学生食堂にて学生に期間限定で朝食提供補助1,099食数援助した。及び1月秋学期は、1,118食数援助した。

板倉キャンパス図書館での「図書館de朝カフェ」2019年4、9月及び2020年1月に実施し援助した。

朝食支援の補てんとして2019年4、7月及び2020年1月に、豆乳、グラノーラなどの軽食を生活協同組合等に委託し提供した。

(6)東洋大学社会貢献センター学内講座浦水会援助制度

東洋大学社会貢献センター学内講座の実施に伴い、申請に基づき対象資格に合格した学生42名に対して援助した。なお、援助は、他学部との褒賞金とは重複しないことを前提とした。

(7)弔慰金制度

「弔慰金規程」に基づき、会員の申請に基づき次の5名に支給した。

3. 浦水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)浦水会費の徴収

浦水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし、本部に納入された。

(2)支部運営費

①在学生が確定する6月時点の支部会員数26,218名分に対して1人当たり1,000円を乗じ、さらに会員が1,000名未満支部について、100,000円を加算し、本部から運営費として支出した。

さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき26支部へ増額50,000円の援助を行った。

②支部主催事業(講演会、就職説明会等、主たる目的が会員親睦である活動以外を目的とした支部行事)を実施した17支部に対し、申請に基づき援助した。

③地区長主催で全国6地区において、地区別支部長会

議開催に伴う会場費等の経費について、10万円を上限として本部において負担援助した。

4. 就職関係

(1)就職関連講演会等の実施

就職説明会開催希望支部について、講師選定と派遣について大学と協議した。

(2)大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

就職関連講演会を中心とした大学からの支援体制の説明ツールとして、前年度に引き続きパワーポイントで作る動画プレゼンテーション（P I P M a k e r）を作成した。

5. 大学事業（行事）に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本とした。

(1)父母懇談会および甫水会支部総会同日開催に伴う経費

2015 年度より大学主催の父母懇談会開催に伴い、甫水会本部と各支部の実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働体制で実施を支援した。全国で開催された「地区別父母懇談会並びに甫水会支部総会」の実施経費のうち、会場費等については、大学との連携と協働体制のもと、甫水会が負担支出した。

(2)父母専用相談窓口運営の設置

2015年度から開設された、父母専用相談窓口（父母ホットライン）の運営について、引き続き大学と協働し、136件の問い合わせがあった。

(3)新入生父母に対する説明会実施に伴う経費

学部主催「新入生父母に対する説明会」（入学式当日に実施）に、大学職員を交えて、本部役員による甫水会の案内説明を行った。経費執行はなかった。

(4)「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センターの企画・実施、実行委員会を構成、その運営費の一部を負担援助した。

(5)卒業記念品他

卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金を援助した。

卒業式等に伴う記念フォトスポット用パネルを援助した。

(6)全学的な行事に対する援助

白山祭・こもれび祭（川越）・朝華祭（朝霞）・雷祭（板倉）の4キャンパスの大学祭の実行委員会に対して援助金を支出した。さらに、板倉キャンパスで実施されたスポーツ大会に援助金を支出した。

(7)留学生団体等に対する援助

留学生連合会等団体の活動を援助した。

(8)学部行事等（ゼミナール単位での取組み含む）に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甫水会会長賞」を授与した。具体的な内容は次の通り。

①法学部新入生行事に対して、ポケット六法62冊を授

与し、また法学部法律討論会および法学部ゼミ発表会に援助した。

②障がい学生支援ボランティア活動における功労者に対する表彰を行い、3年生20名へ表彰状を授与、4年生12名へ表彰状授与し、功労金を支給した。

③東洋大学発祥の地でもある麟祥院で開催された春日忌に文学部・国際観光学部共同での授業参加に対し援助を行った。

(9)「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

「創立150周年に向けて国際的に優れた水準の大学を目指す。」といった「未来宣言」の実現を支援すべく、大学の寄付募金の趣意に添った形で、昨年度に引き続き、「奨学事業の展開」、「課外活動の支援として用途支援型」の寄付を行った。

(10)会長施策重点支援事業費

昨年に引き続き、2020年1月2日「東洋大学甫水会第96回箱根駅伝応援ツアー（日帰り）」を実施し、バス運行委託等の経費を支出した。参加者は132名で、一部経費負担として1人3,000円の参加費を徴収した。

(11)交換留学生等の受入れ支援

今年度、担当部署と協議して試みたが、実施に至らなかった。次年度に向けて、実施体制の整備を図りたい。

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、甫水会代表者を派遣・協力した。

2019年4月6日	入学式
2019年4月18日	2019年度新入留学生歓迎会
2019年5月18日	東洋大学校友会支部長会
2019年6月6日	学祖祭
2019年10月6日	校友会「平和祈念之碑に集う会」
2019年11月2日	哲学堂祭
2019年11月10日	校友会2019年度校友大会
2019年11月30日	井上円了が志したものとは表彰式
2019年12月20日	留学生年末交流会
2020年3月10日	一部・二部体育会表彰式（※）
2020年3月19日	校友会学生研究奨励基金授与式（※）
2019年3月23日	卒業式（※）

（※）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施した。

(1)甫水会本部発行情物

全会員対象の「会報東洋」

——年1回（2019年12月発行予定）

本部役員及び支部長対象の「甫水会ジャーナル」

——年2回（2019年4月・10月発行予定）

「会報東洋」の発送は、大学の送付物に同封した。

新入生対象の「会員のしおり」については、例年12月より発送していたが、今年度については、大学のペーパーレス化に伴い、2020年5月に発送予定。

(2) 浦水会ホームページの運営

大学ホームページ内における制約を鑑みた際、本会独自のホームページを作成することで、会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理の委託をしている。

(3) 本部及び支部活動促進のためのグッズ作成（当年度支部役員就任者への配布）

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的にボールペンを作成した。

配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底するとともに、配布基準に基づき会員間の平等性を確保した。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年5回配付した。

(4) 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等浦水会主催行事への会員の参加を促進すべくバッグ型クリアファイル、ボールペンを作成し配布した。「会員の集い・就職フォーラム」用に、オリジナルトートバッグの作成配布をした。

8. 会員情報管理システム

浦水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・浦水会連携推進課に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、浦水会ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

支部事業関係

(1) 支部総会

各支部で実施した。

各支部で6月23日から8月25日に実施され、参加者は56支部1,327名であった。

2015年度より実施の大学主催の「父母懇談会」開催に伴い、関東地区支部は、従来どおり支部総会は別途に独自で開催した。関東地区以外の支部については、大学主催の父母懇談会開催に併せて、同日同会場で開催した。

2019年度は支部総会開催に伴う懇親会実施に際し、支部からの申請に基づき支部へ本部より参加者一人当たり2,000円の援助を41支部へ行った。

(2) 支部行事

就職説明会・講演・研修会等支部主催行事については、支部からの開催要望に基づき、日程及び派遣者依頼願いについて大学側と調整した。また、講演・研修会等の講師について、大学教員を希望する場合については、本部からの紹介を含め協力した。

浦水会の支部主催行事援助金支給規程に基づき、援助金申請提出の支部に対して援助金を支出した。

就職説明（懇談）会

月日	曜	支部	場所	説明者（敬称略）	参加人数
7月6日	土	埼玉県東	イオンシネマ越谷レイクタウン	外部講師 山本みどり	62
7日	日	埼玉県南	ロイヤルパインズホテル浦和	外部講師 福島直樹	132
13日	土	茨城県	牛久エスカード生涯学習センター	外部講師 川田英利	61
13日	土	埼玉県北	埼玉グランドホテル深谷	外部講師 山本みどり	41
13日	日	千葉県西	市川グランドホテル	外部講師 新井章	57
14日	日	千葉県東	千葉市生涯学習センター	外部講師 曾和利光	52
28日	日	栃木県	コンセーレ 2Fアイリスホール	外部講師 山本みどり	57
9月21日	土	東京都4支部	東洋大学白山キャンパス1507教室	大学教員 小島貴子	67
29日	日	群馬県	前橋商工会議所	外部講師 山本みどり 外部講師 田中潤 外部講師 和田葉子	60
11月9日	土	山形県	山形国際ホテル	外部講師 鳥井茂春 卒業生 菊地啓太	30
30日	土	秋田県	パーティーギャラリーイヤタカ	外部講師 吉田優太 卒業生 金澤知真 外部講師 三浦卓実	16
30日	土	静岡県	静岡県男女共同参画センターあざれあ	外部講師 秋山和則 外部講師 村澤仁太 外部講師 近藤徹 卒業生 奥田有香	80
12月1日	日	福島県	郡山市労働福祉会館	外部講師 野内伸一	32
2月29日	土	神奈川県	鎌倉芸術館	外部講師 山本みどり	20
2月29日	土	京都・滋賀県	京都柳場 ほん田亭	外部講師 福本賢太	4

大学施設設備校舎見学会

月日	曜	支部	場所	参加人数
11月3日	日	茨城県	白山キャンパス	40
9日	土	埼玉県北	白山キャンパス	32
12月7日	土	栃木県	朝霞キャンパス・白山キャンパス	36
7日	土	群馬県	白山キャンパス	51
7日	土	東京都城北	板倉キャンパス	17

講演・研修会等

月 日	曜	支部	内容等	講演者（敬称略）/ 場所	参加人数
5月3日	金	大分県	第59回全国大学選抜相撲宇佐大会応援	宇佐市総合運動場宇佐相撲場	21
7月6日	土	埼玉県中央	講演会：「箱根駅伝からのオリンピックへ」 講 話：「日常の中の仏教」	元東洋大学陸上競技部 コーチ佐藤 尚 川越大師 喜多院第59代住職 塩入 秀和 川越東武ホテル	56
6日	土	東京都 城東・城西中央・ 城北	「運動が脳や体に及ぼす影響について： どのくらいの運動が効果的か？」	東洋大学理工学部 小河繁彦教授 東洋大学白山キャンパス	134
7日	日	神奈川県	「暮らしと放送メディア」	元NHKエグゼクティブアナウンサー 山下信	60
14日	日	東京都 多摩	「落語会における親子、師弟関係」について	落語家 林家あんど 立川グランドホテル	46
9月13日	金	岐阜県	第88回日本学生陸上競技選手権	岐阜メモリアルセンター長良川競技場	6
29日	日	埼玉県南	バス研修旅行	山梨県立リニア見学センター シャトー勝沼ワイナリー 一古園、桔梗屋	77
10月13日	日	富山県	滑川ほたるいかマラソン応援および懇親ランチ (台風のためマラソンは中止)	滑川市民交流プラザ内 かじやばし	17
14日	月	鳥取県	第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲市・出雲ドーム	10
14日	月	島根県	第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲ドーム、出雲大社、出雲市平田町地内、浜 山公園陸上競技場、島根ワイナリー	4
14日	月	広島県	第31回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前	22
11月2日	土	東京都城西	哲学堂日帰り研修	哲学堂他	28
3日	日	群馬県	雷祭出店	東洋大学板倉キャンパス 雷祭「射的」出店	11
3日	日	愛知県	第51回全日本大学駅伝対校選手権応援	熱田神宮西門前	22
3日	日	三重県	第51回全日本大学駅伝対校選手権応援	三重県伊勢市（ゴール付近）	13
3日	日	岐阜県	第51回全日本大学駅伝対校選手権応援	熱田神宮前スタート地点	13
10日	日	東京都多摩	バス研修旅行	江戸博物館、両国・浅草 お台場	38
16日	土	埼玉県中央	日帰り研修バス旅行	道の駅はなぞの、長瀬ライン下り、 ムーミンテーマパーク	36
16日	土	東京都中央	クリスマスリース作り&学食ランチと茶話会	東洋大学白山キャンパス	12
16日	土	神奈川県	歌舞伎鑑賞	国立劇場	73
17日	日	千葉県西	千葉県西支部バス研修	アサヒビール工場見学 箱根駅伝ミュージアム	72
12月7日	土	東京都中央	東洋大学混声合唱団「白山グリークラブ」 第57回定期演奏会	埼玉会館大ホール	11
12月7日	土	岡山県	美術鑑賞、見学	足立美術館、米子城跡	6
25日～29日	水 ～ 日	北海道 釧路	第92回日本学生氷上選手権大会（インカレ） 釧路応援	釧路アイスアリーナ	19
25日～29日	水 ～ 日	青森県	第92回日本学生氷上選手権大会（インカレ） 釧路応援	釧路アイスアリーナ	2
1月2日	木	岩手県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース	3
2日	木	山梨県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	箱根駅伝往路ゴール付近	30
2日～3日	木 金	宮城県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース	7
2日～3日	木 金	神奈川県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	箱根駅伝コース	37
2日～3日	木 金	新潟県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	神奈川県箱根町・東京都中央区日本橋	20
3日	金	茨城県	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷公園前	17
3日	金	埼玉県中央	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	西新橋2丁目交差点付近	50
3日	金	埼玉県東	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷通り沿い	55
3日	金	埼玉県南	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷公園花壇前	23
3日	金	千葉県西	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	大手町パシフィックセンチュリープレイス横	50
3日	金	東京都城東	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷花壇前	13
3日	金	東京都中央	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	日比谷公園花壇前	11
3日	金	東京都城西	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援 および茶話会	大手町、日比谷花壇前等	22
3日	金	東京都城北	第96回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	芝増上寺横	30
19日	日	東京都城東	バス研修旅行	アサヒビール神奈川工場 小田原鈴廣かまぼこの里 二宮尊徳記念館	72
2月1日	土	東京都城西	日帰りバス研修 (イングリッシュキャンプデモレッスン)	河口湖セミナーハウス ルミエールワイナリー	27
9日	日	東京都城東	料理教室	岩谷すみ子 江東区総合区民センター	25
16日	日	東京都城北	バス研修旅行	箱根神社、箱根駅伝ミュージアム、鈴廣	36
24日	月	千葉県西	宝塚観劇	東京宝塚劇場	59
3月7日	土	富山県	懇親会（しゃべらんまいけ）	富山県民共生センターサンフォル	12

甫水会収支関係

甫水会費……………	5,000円		
第1部	26,000名……………	130,000,000円	
第2部	392名……………	1,960,000円	
	26,392名……………	131,960,000円	
※自然災害学生（免除）27名			△135,000円

2019年度会計報告

2019年度決算は、4月及び5月に開催されました理事会・評議員会において、承認されました。

2019年度一般会計決算報告書

自2019年4月1日～至2020年3月31日

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
(流動資産)	(130,513)	(流動負債)	(1,426)
現金	88	未払金	153
普通預金	130,036	前受金	270
郵便振替	389	預り金	1,003
(固定資産)	(1,000)	正味財産の部	
甫水会記念事業積立金	1,000	次年度繰越金	129,087
		特定資産次年度繰越金	1,000
合計	131,513	合計	131,513

一般会計収支計算書

自2019年4月1日～至2020年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
甫水会費収入	131,960	事業費	136,349
雑収入	3	管理費	14,028
投資活動収入	21,078	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	127,423	次年度繰越金	129,087
合計	280,464	合計	280,464

2020年度事業計画

東洋大学においては、2020年度以降東洋大学が進化していくためには、その環境に適切に対応していくための叡智を教育研究の中で見出し、新たな時代に求められる人材を大学がどのように育成し、その役割を果たしていくかが問われている。

東洋大学甫水会は、1959年1月父兄会とし、設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2020年度で創立61年目を迎えることになります。

甫水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、会員とご子息ご子女各位にとって、実り多きものとなるように、2020年度も引き続き、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、甫水会の事業を展開してまいります。

以下、2020年度甫水会事業計画の概要を説明いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1) 評議員会

常任理事及び全国56支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。

(2) 理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回10月及び翌年4月に開催する。

(3) 常任理事会

原則として、毎月1回開催する（7・8月を除く）。

本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会等で決定した事業計画を円滑に執行する。

(4) 常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5) 役員選考委員会

次期役員候補者を全国56支部より推薦していただき、1月に役員候補者の選考を行う。

(6) 地区別支部長会議

全国10地区において地区長主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を1月及び2月に実施する。

(7) 全国56支部長研修会

本部主催で全国56支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催する。

(8) 父母懇談会での協働

大学主催による父母懇談会（2015年度より甫水会主催の甫水懇談会を変更）の実施に際して、甫水会本部及び各支部が実施運営に協働（協力支援）することを本部事業として位置づける。

父母懇談会の実施については、関東地区の各支部（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス（白山、川越、朝霞、板倉、赤羽台）で6月に実施する。2020年度は関東地区以外の各支部の会員については、全国14会場にて7月～8月に実施する。大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制について説明するほか、個別面談を実施する。新型コロナウイルスの感染状況を考慮のうえ、実施の可否については、4月末日までに決定し、5月7日以降にご連絡する予定である。

(9) 会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、11月に実施とする。

講演内容として、魅力ある講演者・テーマ等を選択し参加者の増員を図る。なお、遠隔地支部会員については、規定額の交通費を補助する。

2. 学生支援諸制度

(1) 奨学生制度

① 家計急変者対象（従来の甫水会奨学金）

東洋大学第2種及び3種奨学金の申請が間に合わなかった学生で、支援を要する場合。

② 経済支援奨学金 ※大学と協議のうえ実施する。

(2) 学生の課外活動促進

① 学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生部と連携し、学生団体のみならず、個人の活動についても対象とし顕著な活動が認められ大学から特段の要請があった場合について広く援助又は表彰する。

② 文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に関して、全国地方都市で行われる大会や発表会への参加等地方における課外活動の促進を図る援助を行う。

③ 正課外教育活動参加促進援助

正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図るべく、大学が指定するイベントに参加する学生に対しての支援。

④ 学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている公認学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入等を支援する。

(3) 国際化の支援

大学の国際化を支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に関するイベントへ支援を行う。大学の交流イベントを協賛、補助する形で外国人留学生が興味を持っている日本の衣

食住、文化芸術に関する講演会の実施などを行う。

(4)就職活動支援

- ①ビジネススーツ等購入支援（紳士服販売業者と提携して無料配布）

予算に限りがあることを考慮して、家計急変者等に対象を限定し、奨学金の補てんを趣旨とした支援を行う。経済的困窮学生の選考評価が難しいことを踏まえて、甫水会の奨学金受給者及び東洋大学第2種、3種奨学金の受給者を対象とし、大学の奨学金説明時に併せて広報するなど、周知の時期や広報の仕方を併せて工夫する。

- ②就活グッズの作成配布

就職活動を行う学生全体に対して、就職活動に活用できるグッズ（大学独自の履歴書、カードミラーなど）を作成して配布する。

(5)学生の食育支援

食育の一環として、引き続き大学からの申請に基づき援助する。

- ①全学生を対象とした100円朝食を引き続き実施する。
②朝食支援の補てんとして、牛乳、グラノーラなどの軽食を生活協同組合等に委託し支援する。

(6)東洋大学社会貢献センター学内講座甫水会援助制度

2016年度より開設の東洋大学社会貢献センター学内講座実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。支給にあたっては、他学部との褒賞金とは重複しないものとし、予算の範囲内で支給する。

(7)弔慰金制度

不測の事故等で会員又は会員のご子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給する。

3. 甫水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)甫水会費の徴収

甫水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし、本部において徴収する。

(2)支部運営

- ①支部運営費は、支部所属会員数1人当たり1,000円を乗じて算定する。さらに、会員が1,000名未満支部については、100,000円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。

さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき増額50,000円の援助を行う。

- ②支部運営費については、講演会、校舎見学等、その実施目的が会員の親睦のみに限定されない支部開催事業（支部行事）に対して充てられるものとし、原則として支部予算の範囲内で実施するものとする。ただし、支部予算では賄えない場合で、やむを得ないと認められる場合に限り、支部からの申請に基づき、本部において審議のうえ、年度中10万円の範囲内で交付金を支給する。

- ③別途、就職説明会、文化・体育活動の支部主催応援行事等については、支部会員全体に周知する

ことを前提に支部からの申請に基づき、年度中10万円の範囲内で援助する。なお、援助にあたっては、繰越金等の支部の収支状況を考慮して、援助の有無又は援助金額について審議する。

4. 就職関係

(1)就職関連講演会等の実施

本部または各支部で実施する就職関係講演会等行事については、6月から実施する父母懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討する。

行事内容の策定及び講演者の選定については、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮するとともに、実施に際しては、甫水会事務局を通じて大学における就職関連担当事務局（就職・キャリア支援部等）の意見及び推薦を踏まえることとする。

(2)大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

就職関連講演会を中心とした大学からの支援体制の説明ツールとして、前年度に引き続きパワーポイントで作る動画プレゼンテーション（P I P M a k e r）を作成する。就職環境の変化や支援体制変更に伴う説明内容の変更点を更新するほか、新たな説明ツールの作成も行う。ツールの更新、新規の作成に際して、父母（会員）に対するアンケート等を基に、ニーズや意見を反映させるようにする。

各支部に配布して支部行事の活性化を図るほか、作成を通じて父母懇談会での大学関係者の説明支援に寄与する。

5. 大学事業（行事）に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1)父母懇談会および甫水会支部総会同日開催に伴う経費

2015年度より大学主催の父母懇談会実施に伴い、甫水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働（連携・支援・協力）体制とする。特に、全国会場で実施する、地区別父母懇談会ならびに甫水会支部総会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との協議の上、予算の範囲内で甫水会が負担する。

(2)父母専用相談窓口運営の設置

2015年度から開設された、父母専用相談窓口（父母ホットライン）の運営について、大学と協働して推進する。

(3)「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センター内の実行委員会に本部役員が構成員として任用されており、実施企画について、その運営費の一部を援助する。

(4)卒業記念品

毎年度、卒業記念品購入代金として大学、校友会、本会の三者による分担金を支出する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。

(5)全学的な行事に対する援助

既存の5キャンパスにおける大学祭（白山祭（白山）、こもれび祭（川越）、朝華祭（朝霞）、雷祭（板倉）、

INIAD-FES（赤羽台）及び3キャンパスにおけるスポーツ大会（川越、朝霞、板倉）について、援助金を支給する。

(6)留学生団体等に対する援助

大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団体の活動に対し広く援助金を支給する。

(7)学部行事等（ゼミナール単位での取組み含む）に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甫水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給する。

(8)「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

「創立150周年に向けて国際的に優れた水準の大学を目指す。」といった「未来宣言」の実現を支援すべく、大学の寄付募金の趣意に添った形で寄付を行う。

「奨学事業の展開」、課外活動の支援として「強化指定部への支援、強化指定部以外運動部への支援、障がい学生支援」

(9)会長施策重点支援事業

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。

(10)交換留学生等の受入れ支援

(11)箱根駅伝応援バスツアー（本部主催）の実施

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する祭事等に、甫水会代表者を派遣する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

(1)甫水会本部発行物

①新入生対象の「会員のしおり」

——年1回（2020年12月発行予定）

② 全会員対象の「会報東洋」

——年1回（2020年12月発行予定）

③ 本部役員及び支部長対象の「甫水会ジャーナル」

——年2回（2020年4月・10月発行予定）

(2)甫水会ホームページの運営

本会独自のホームページを2018年度創立60周年記念事業の中で新規開設をした。東洋大学ホームページとのリンクを確保して、甫水会と大学との情報の共有化を図ると共に甫水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図る。会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理の委託をしている。

(3)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成（当年度支部役員就任者への配布）

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に作成する。

配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底するとともに、配布基準に基づき会員間の平等性を確保する。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年5回配付する。

(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等甫水会主催行事への会員の参加を促進すべく配布する。グッズの内容は、応援グッズなど活動促進に資するものとし、大学と協働で作成して効率的な作成を図り、併せてコストの低減を図る。

8. 会員情報管理システム

甫水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会費納入処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・甫水会連携推進課に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力をお願いする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき取り扱っている。なお、ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、最新データを随時加えることによって、情報化を促進する。

支部事業関係

各支部が中心となって主催する行事等については「支部主催行事等援助金」支給基準に基づき援助を行う。

各行事等の名称と実施手続き等については次の通り。

(1)支部総会

2015年度より実施、大学主催の父母懇談会開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会開催は、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会場で実施する（一部都合により父母懇談会と別日程で支部総会を開催せざるを得ない場合は、甫水会本部と相談の上、別途支部において、別日程で支部総会を開催する場合がある）。

また、関東地区の支部については、従来通り支部総会は別途、別日程で独自開催する。

2020年度は支部総会開催に伴う懇親会実施に際し、支部からの申請により支部へ本部より参加者一人当たり2,000円の援助を行う。（一学生につき父母及び保護者2名参加者まで）なお、役員のための懇親会開催については、援助対象外とする。

2020年度については、地区別父母懇談会と同時開催できない支部もあり、支部総会への出席率を上げるため、甫水会本部として協力をする。

(2)就職説明（懇談）会

各支部において、独自で就職説明（懇談）会を計画した場合は、「甫水会支部関係業務等処理手順」に基づき、甫水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望に基づき、大学側と調整し支部へ報告する。

(3)校舎見学会

5校舎の父母懇談会時及び本部主催事業「会員の集い・就職フォーラム」(白山校舎)の実施に際して、校舎見学を実施する。支部単位での個別の校舎見学についても受付けることとし、校舎案内者を派遣依頼要請する関係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請を受け付ける。

2017年度開設の赤羽台キャンパスについても、父母懇談会時等に実施できるよう調整するが、支部行事での校舎見学はキャンパスセキュリティのため不可とする

(4)講演・研修会等

講演・研修会等の講師について、東洋大学の教員等を講師として希望する場合、支部からの申請に基づき、本部にて担当課と調整の上派遣する。

2020 年度予算書

2020年度予算は、理事会・評議員会において、事業計画書と共に提出、報告されました。

2020年度一般会計収支予算書

自 2020年 4月 1日～ 至 2021年 3月 31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
甬水会費収入	132,500	事業費	155,804
雑収入	26	管理費	27,089
投資活動収入	0	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	85,622	予備費	30,000
		次年度繰越金	4,255
合計	218,148	合計	218,148

甬水会収支関係

1. 収入について

2020年度の甬水会費は、大学に委託徴収を依頼している。

甬水会費5,000円

第1部の入学生及び在学生から徴収する。なお、留学生は除く。

第2部の入学生及び在学生からは、任意加入として本部が徴収する。

2. 支出について

【事業費】

- ①本部関連事業の主要行事である、支部総会、会員の集い・就職フォーラム、就職説明(懇談)会、会報発行等については大学の関連部署と協働を図り、予算を執行する。
- ②支部関連事業の支部主催行事についても規程に準じて援助し、各支部の活性化を図る。
- ③学生協力費については、前年度通り本会の目的に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給する。
- ④人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。
- ⑤2020年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。

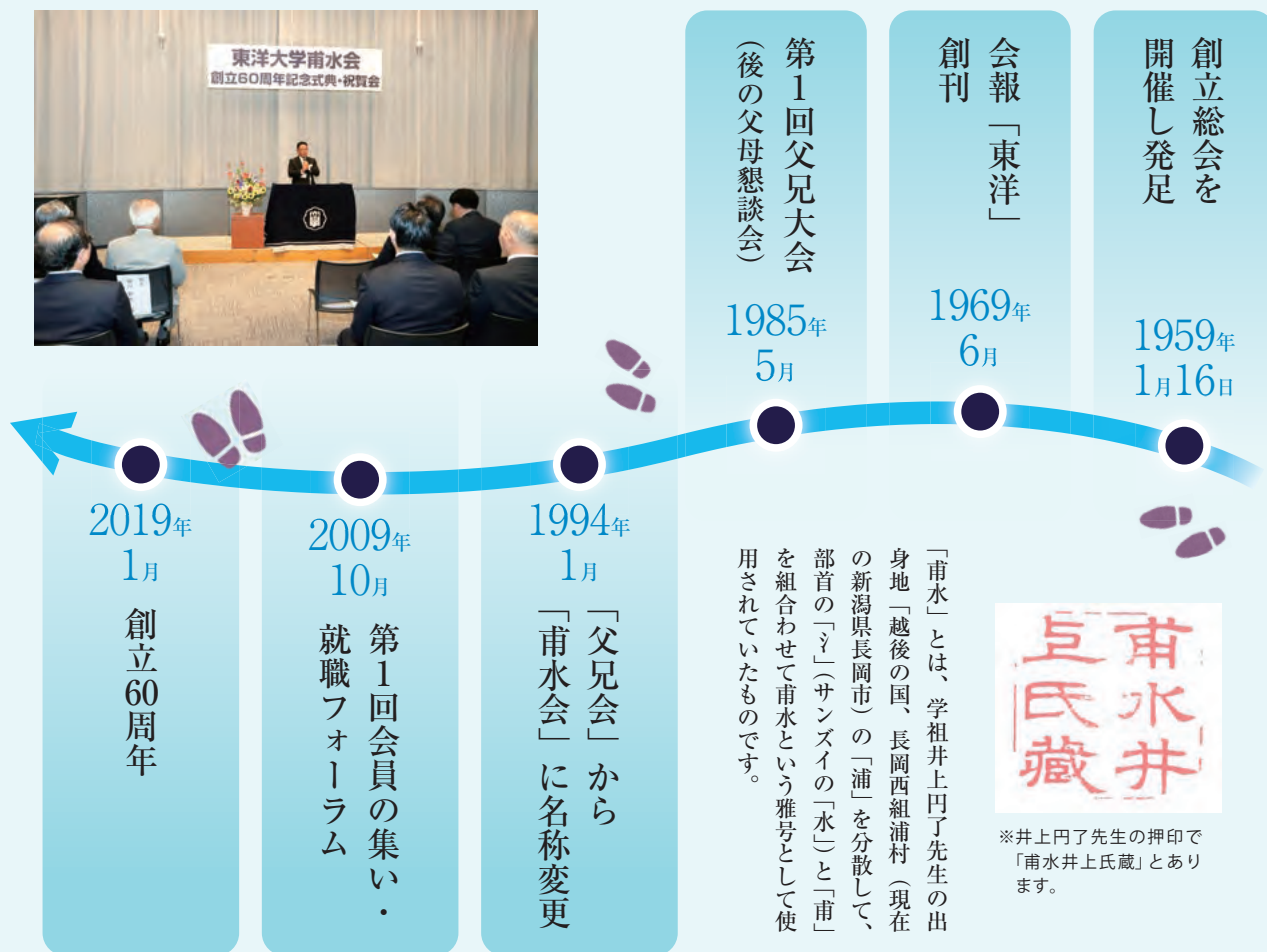
【管理費】

- ①会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。
- ②通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要する費用を科目ごとに計上している。
- ③人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費を、労働契約書に基づき支出する。
- ④2020年度新規施策事項については、必要な経費を計上した。
- ⑤予備費については、緊急支出として措置する。

【特定資産取得支出】

周年事業に向けての準備積立金100万円を計上する。

甫水会簡易沿革



甫水会寄贈物件



本部行事

「井上円了が志したものとは」授賞式



甫水会代表よりご挨拶をし、甫水会長賞を授与しました

就活活動支援



「就活 LIVE」でカードミラーを配布しました

大学へ寄付目録贈呈



川本会長より安齋理事長へ寄付目録を贈呈しました

地区別支部長会議



関東・甲信越・北陸地区合同会場風景

箱根駅伝応援バスツアー（2020年1月）



1区のスタート付近で選手を沿道で応援し、バスで箱根に向かい、5区のゴール付近で選手を声援しました



地区別支部長懇談会

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部総会がWebでの開催となり、本部役員が各地区に出向き、状況や情報交換をしました。



北海道地区



関東地区



甲信越地区



東海地区

会員の集い・就職フォーラム（オンライン）



就職講演会



会長挨拶



パネルディスカッション

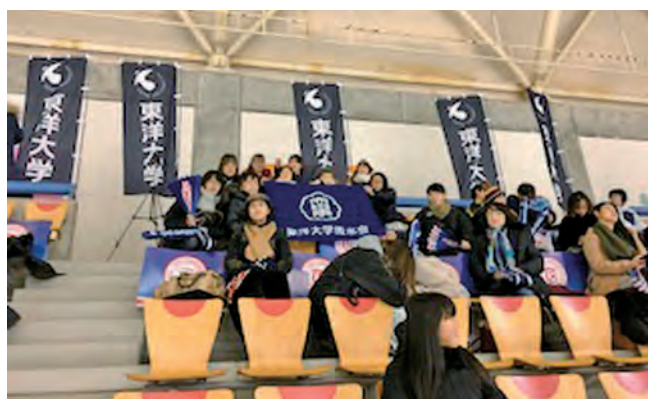
支部行事



千葉県西支部 (宝塚観劇)



富山県支部 (しゃべらんまいけ)



釧路支部 (アイスホッケー応援)



青森県支部 (アイスホッケー応援後懇親会)



城東支部 (料理教室)



城西支部 (バス研修旅行)



城北支部 (バスツアー)

※支部行事については、2019年12月～2020年3月に開催した行事となります。

甫水会役員名簿

[2020年度本部役員]

役職名	氏名	支部名
会 長	川本 正信	多 摩
副 会 長	荻野 雅彦	埼 北
副 会 長	鈴木 貞好	神 奈 川
常 任 理 事	大熊 廣一	大 学 推 薦
常 任 理 事	濱田麻衣子	埼 東
常 任 理 事	佐藤 康代	茨 城
常 任 理 事	堤 芳昭	埼 玉 南
常 任 理 事	久野 裕之	千 葉 東
常 任 理 事	吉田しのぶ	城 西
監 事	久保田誉代	埼 中
監 事	錦戸 智行	千 葉 西

役職名	氏名	支部名
理事・地区長(北海道)	吉田 敦史	札幌・函館
理事・地区長(東 北)	田口 俊成	秋 田
理事・地区長(関 東)	大木 裕美	城 北
理事・地区長(甲信越)	千野 晃	山 梨
理事・地区長(北 陸)	寺田 正博	富 山
理事・地区長(東 海)	平野 貴子	静 岡
理事・地区長(近 畿)	左向 清人	阪 奈
理事・地区長(中 国)	岩森 邦彦	鳥 取
理事・地区長(四 国)	豊栖 弘明	徳 島
理事・地区長(九 州)	江藤 忠裕	宮 崎

[評議員]

会則第20条2項（支部長）

支部名	氏名
札幌・函館	吉田 敦史
旭 川	東 晃司
北 見	遠藤 義浩
室 蘭	酒井 司
釧 路	藤原多真江
青 森	小笠原勝博
岩 手	小原 都氏
宮 城	上泉 恵子
秋 田	田口 俊成
山 形	橋本 正之
福 島	山口 洋
茨 城	藤平 浩貴
栃 木	石山 光世
群 馬	長瀬 薫
埼 北	中島 裕
埼 中	吉田 実
埼 東	竹森 裕二
埼 南	久保 孝之
千 葉 東	早川 克巳

支部名	氏名
千葉西	足立真知子
城 東	鈴木 一広
城 西	内藤 雅彦
中 央	難波 陽子
城 北	大木 裕美
多 摩	栗原 成行
神 奈 川	清水 豊
新 潟	清水 真也
山 梨	千野 晃
長 野	中村 房宜
富 山	寺田 正博
石川・福井	干場 伸也
岐 阜	井上 健司
静 岡	平野 貴子
愛 知	塚本 貴章
三 重	高橋 裕司
京都・滋賀	山本美千子
阪 奈	左向 清人
兵 庫	原田 順子

支部名	氏名
和 歌 山	岩瀬 和浩
鳥 取	岩森 邦彦
島 根	太田 敦久
岡 山	永田佳奈子
広 島	渡邊 伸吾
山 口	岩本 英樹
徳 島	豊栖 弘明
香 川	赤池 泰弘
愛 媛	秦 美千子
高 知	山中 誠
福 岡	桐 隆一
佐 賀	蒲原 英輔
長 崎	都築 勇一
熊 本	堀野裕一郎
大 分	
宮 崎	江藤 忠裕
鹿 児 島	芝原 健一
沖 縄	大宜味 寿

会則第20条2項（1000名を超える支部）

支部名	氏 名
茨 城	土屋 大輔
埼 中	太田 真美
埼 東	赤石 民子
埼 南	岡安 直美
千 葉 東	佐藤 秀人

支部名	氏 名
千 葉 西	田島 剛
城 東	久茂田善晃
城 北	穂坂 秀人
多 摩	吉元 史昌
神 奈 川	加藤 学

顧問

氏 名
阪上 正樹

本部役員紹介

会 長 川本 正信 東京都多摩

我が子が通う東洋大学を、父母も一緒に楽しみ
ましょう。
家庭と大学を結ぶ甬水会活動にご理解とご協力を！

副 会 長 鈴木 貞好 神奈川

副会長を拝命いたしました鈴木貞好です。会員
の皆様に納得いただける会務運営を目指し精進
して参りたいと思います。

常任理事 佐藤 康代 茨城

甬水会ではコロナ対策や支援を行い、活動をし
ております。会員の皆様と大学との連携を密に
行いより良い甬水会活動を続けて参ります。

常任理事 久野 裕之 千葉県東

全国の甬水会会員の皆様の繋がりがより広く、
深くなるようなコミュニケーションづくりを目
指していきます。よろしくお願い致します。

監 事 久保田誉代 埼玉県中央

コロナ禍の中、東洋大学生に安心安全な学生生
活を送って頂けるように、努めて参りたいと思っ
ています。よろしくお願い致します。

顧 問 阪上 正樹

前年度はチョッピリ太めの副会長、今年度は
縁の下の力持ちな顧問として、甬水会発展に
限らない努力を致します。

副 会 長 荻野 雅彦 埼玉県北

ピンチをチャンスに！今こそ大学・学生との連
携を密にし、会員皆様の叡智を結集しこの難局
を乗り越えましょう。

常任理事 濱田麻衣子 埼玉県東

対面方式が難しい中ですが、大学・学生・甬水
会会員の皆様の連携の手助けができるよう務め
させていただきます。よろしくお願い致します。

常任理事 堤 芳昭 埼玉県南

このような時だからこそ、甬水会が皆様の心の
拠り所となります様、力を合わせて頑張りたい
と思います。宜しくお願い致します。

常任理事 吉田しのぶ 東京都城西

父兄娘と三代に渡りお世話になる東洋大学にご
恩返しのできる様、また皆様のお役に立てる様
努めさせていただきたいと思います。

監 事 錦戸 智行 千葉県西

アフターコロナのニューノーマル時代における
新しい甬水会活動構築に向けて、本部役員一同
協力して取り組んで参ります。

※大学推薦の常任理事「大熊 廣一」P.2に挨拶あり



左から阪上顧問、久保田監事、錦戸監事、堤常任理事、荻野副会長、川本会長、大熊常任理事、
鈴木副会長、佐藤常任理事、濱田常任理事、吉田常任理事、久野常任理事

東洋大学オリジナルグッズのご案内

入学・卒業の記念に、ご進物用に、応援グッズとしてなど、
さまざまなシーンでご利用いただいております。
ご注文はオリジナルグッズサイトよりお申込ください。



テディベア



NIKE Tシャツ・フルジップパーカー



クッキー



マフラータオル



応援旗

期間限定
TUマークラベル
地ビール



お申込は
<https://goods.toyocoop.jp/>

東洋大学生協同組合



東洋大学雨水会 ウィンドブレーカーご案内

雨水会でウィンドブレーカーを作成いたしました。
これを着て一緒に学生の応援へ駆け付けませんか？

※ご購入を検討される場合は在籍支部へご連絡をお願いいたします。



ブレーカーシャツ ¥4,600(税込)

■素材…表地&裏地：ポリエステル100%

●サイズ

S	157 ~ 163
M	162 ~ 168
L	167 ~ 173
XL	177 ~ 183
2XL	182 ~ 188



「学研災付帯学生生活総合保険」(略称「付帯学総」)のご案内

学生生活や日常生活全般に対応する保険です。入学時だけでなくいつでもご加入いただけます。



補償します！



風邪やケガをして受診した。



自転車で走行中、他人にぶつかりケガを負わせた。

主な特徴

◎ 病院の治療費実費を1日目から補償（医療機関の窓口で自己負担した費用を補償）

事故によるケガだけでなくカゼ等の病気も治療費実費を1日目から補償、また、処方されたお薬代も補償します。
「新型コロナウイルス関連肺炎」について、治療費用(※)・救護者費用等が補償されます。

(※) 一部負担金等の負担をした場合

◎ 加害事故時の賠償責任保険を補償（示談交渉サービス付き）

学生生活を24時間総合的に補償します。（アルバイト中・部活動中・インターンシップ中を含む）
自転車保険に相当する補償も含まれています。

◎ 割安な保険料

付帯学総は、団体割引（30%）が適用になり通常の保険加入に比べ割安な保険料になっております。

申込方法

お申し込みにあたっては、パンフレットでご確認ください。

1. 加入タイプ確認（パンフレット）

検索キーワード

（東洋大学グローバルサービス、付帯学総、2020）

<https://www.tugs.co.jp/wp-content/uploads/2020/>



2. 加入サイト（「サイちゃん Web」）

<https://tokiomarine.secure.force.com/futaigakuso?id=0223700>



※ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

【取扱代理店】東洋大学グローバルサービス株式会社

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 白山キャンパス 8 号館 2 階

電話 03-3945-4261

ウェブサイト <https://www.tugs.co.jp/>



TUGS

東洋大学グローバルサービス株式会社
TOYO UNIVERSITY GLOBAL SERVICE Co., Ltd.

東洋大学 父母専用相談窓口（父母ホットライン）

ご父母または保証人の皆さまに対する電話相談窓口

東洋大学浦水会事務局内に、父母専用相談窓口（父母ホットライン）を開設しています。
学部・在籍するご子息・ご息女のごことで、ご父母または保証人の皆さまが、大学のどこの
部署へ相談したらよいかわからない等、お困りのことがございましたら、この相談窓口まで、
電話にてお問い合わせください。

※大学へのご連絡に際して

授業運営や事務手続きに関する質問等につきましては、ご
子息・ご息女が所属する関連窓口へ直接申し出ていただくよ
うお願いしています。お子様の自主性を尊重し、学修を実質
化する意味において、父母および保証人の皆さまにおかれま
してもご助言いただきますようお願い申し上げます。



電話番号 ● 03-3945-7883

受付時間 ● 9:30 ~ 16:30（月曜日～金曜日）

浦水会からのお願い

保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更される場合には、ご子息・ご息女に東洋大学ホーム
ページサイト『ToyoNet-G』（とよねっとジー）で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「父母懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等、
浦水会及び会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、浦水会では、住所変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し
上げます。

教務担当窓口への提出 もしくは『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。

甫水会からのご案内



甫水会会員向け HPのご案内

保護者として知りたい情報をアップしています。

例えば…… 甫水会とは…？

支部行事に参加してみたい。

学生の大会情報を知りたい など

URL : <https://www.toyo-hosui.jp>



東洋大学雨水会

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 (8号館中2階)

TEL.03-3945-0123 FAX.03-3942-7612

メールアドレス hosui@toyo.jp

発行日 2020年12月15日 編集・発行 東洋大学雨水会